

平成 28 年度 第 2 回 山科区民まちづくり会議

日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）午前 10 時～11 時 30 分

場所：山科区役所 大会議室

次 第

1 開 会

2 報 告

（１）区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）について

資料 1

（２）平成 29 年度共汗型事業について

資料 2

（３）山科区民まちづくり会議の進め方について
（「第 2 期山科区基本計画」の進ちよく評価方法の見直し）

資料 3

（４）平成 28 年度「区民アンケート」実施結果について

資料 4

3 審 議

「第 2 期山科区基本計画」の進ちよく評価について

4 閉 会

山科区民まちづくり会議委員名簿

平成29年2月現在：計33名（五十音順）※敬称略

氏 名	所属等	備 考
栗田 卯一	京都市中学校 PTA 連絡協議会山科支部	欠席
飯森 千夏	京都橘大学学生	
市川 正三	山科区農業団体連絡協議会	欠席
岩見 眞成	山科防犯協会	
大河内 清子	一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部	欠席
太田 益富	市民公募委員	
岡本 洋	山科の歴史を知る会	
影久 拓真	京都薬科大学学生	
片岡 滋夫	山科区保育園保育所協議会	
川中 長治	一般社団法人山科経済同友会	
木下 文男	山科区身体障害者団体連合会	
栗本 芾子	山科区地域女性連合会	
小暮 宣雄	京都橘大学現代ビジネス学部教授	
佐治 俊彦	山科保健協議会連合会	
澤田 清一	山科区自治連合会連絡協議会会長会 山科区交通安全対策協議会	
杉浦 紗生	京都橘大学学生	欠席
相馬 映美	京都薬科大学学生	代理：岸田佑樹
高間 正夫	山科地域防犯推進委員協議会	
田中 長一	山科区自治連合会連絡協議会会長会	
土田 絹枝	山科区老人クラブ連合会	欠席
出竿 賢治	NPO法人おこしやす“やましな”協議会	代理：小山好弘
中嶋 恵二	山科区体育振興会連合会	
紀田 貢	山科医師会	欠席
平野 一男	山科少年補導委員会	欠席
前坂 己美子	山科区民生児童委員会	代理：杉原登士夫
松永 昌子	京都市私立幼稚園協会山科地区	
村井 琢哉	NPO法人山科醍醐こどものひろば	
村田 哲子	清水焼団地協同組合	欠席
森 正美	京都文教大学総合社会学部教授	欠席
森田 武士	山科消防団	
山本 陽子	京都市児童館学童連盟山科地区	
山本 稔	山科美化推進企業協議会	代理：金澤洋史
吉川 彰	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会	

オブザーバー委員（区内行政機関職員）名簿

氏 名	役 職 等	備 考
池上 研二	東部農業振興センター	
井上 元次	山科消防署	
大場 孝弘	山科青少年活動センター	
小池 泰夫	東部文化会館	欠席
下岡 薫	京都市立中学校長会山科・醍醐支部	
高野 正義	上下水道局東部営業所	
中西 哲也	上下水道局みなみ下水道管路管理センター山科支所	
仁科 周博	山科図書館	欠席
藤井 豊	東部土木事務所	
水本 誠二	山科まち美化事務所	欠席
山口 亘	京都市小学校長会山科支部	欠席
吉崎 幸二	山科警察署	欠席

事務局（山科区役所職員等）名簿

氏 名	役 職 等	備 考
堀池 雅彦	区 長	
石田 忠彦	副区長（地域力推進室長・区民部長）	
中田 泰司	副区長（福祉部長）	
鍋田 淑華	副区長（保健部長）	欠席
山口 佳子	地域力推進室総務・防災課長	
人見 早知子	地域力推進室まちづくり推進課長	
松尾 裕樹	地域力推進室企画係長	
橋間 望	地域力推進室主任	
石嶋 知哉	地域力推進室係員	
佐藤 友一	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー （山科区主担当）	
谷 亮治	文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー	
河野 康治	文化市民局地域自治推進室地域コミュニティコーディネーター	

区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）について

1 平成28年度第2次募集について

山科“きずな”支援事業においては、第2次募集を実施し、9の団体等から申請があり、「山科区“きずな”支援事業審査委員会」における審査を経て、7件の事業を決定しました。

(1) 募集期間

平成28年8月29日（月）～9月30日（金）

(2) 支援内容等

支援団体	支援対象	補助内容	
ア 地域団体等	地域団体、NPO法人、グループ等が行うまちづくり活動や事業	【補助限度額】	
		総事業費10万円超	1事業 30万円
		総事業費10万円以下	1事業 10万円
		【交付率】1年目3/4以内、2年目以降1/2以内	
イ 大学等	大学等と区民との共汗・協働による事業や交流事業など	【補助期間】1年	
		【補助限度額】1事業 30万円	
		【交付率】10/10以内	
		【補助期間】1年	

(3) 審査委員会

ア 開催日時

平成28年10月20日（木）午前10時～午後0時

イ 審査委員

- ・佐伯 久子氏（山科区地域女性連合会会長）
- ・朱 まり子氏（NPO法人山科醍醐こどものひろば前理事長）
- ・田中 長一氏（山科区自治連合会連絡協議会会長会代表）
- ・深尾 昌峰氏（龍谷大学准教授、きょうとNPOセンター常務理事）
- ・森 正美氏（京都文教大学教授）
- ・吉川 彰 氏（社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会事務局長）

ウ 申請件数及び採択件数等

① 申請件数

9件（新規8件，継続1件）

② 採択件数

7件（新規6件，継続1件）

③ 採択事業の概要

別紙を御参照ください。

2 平成29年度山科“きずな”支援事業（区民提案型支援事業）について

平成29年度についても、山科ならではの地域力を生かした取組について、区民の皆様からの提案を募集し、区民の皆様の主体的なまちづくりを支援するとともに、区民の主体的なまちづくりをしっかりとサポートするため、助成金の交付のほか、以下の事業を行います。

（1）まちづくりサポート講座の実施

区民の皆様の主体的なまちづくりをサポートするため、山科“きずな”支援事業の支援団体を中心に、区内でまちづくり活動に取り組んでおられる方を対象に、活動に役立つ講座（広報、仲間集め、資金集め等）を実施します。

講座とあわせて、京都市まちづくりアドバイザーによる相談会を行い、個別具体的な活動に対するサポートも実施します。

（2）報告会の実施

支援団体間の交流及び事業の成果を広く発信・共有するため、活動報告会を実施します。

【事業イメージ】



平成28年度 山科“きずな”支援事業（第2次募集） 採択事業一覧

1 新規事業（6団体）

(単位：円)

番号	事業名	大学・団体名	事業概要	補助 予定額
1	山科検定	一般社団法人 山科経済同友会	山科検定を通じ、地域の魅力を発見していただき、区民の皆様には山科を愛していただく。山科区外の方にも参加していただくことで、山科の魅力にふれていただき、将来的には山科観光にもつなげていく。	300,000
2	笑人カフェどんげね？ ～子ども食堂～	笑人 Wa-Road	地域での共生を目標に掲げ、居場所（拠点）を作ることによって困りをおかしている人が気軽に飲食・学習・趣味などができる場所を提供する。	274,000
3	山科区内の小学生による 1,000人の提灯行列	山科おやじの会連絡会	次世代を担う子ども達をはじめ、地域の皆さんが人と人とのつながりの大切さを再認識できるような催しを開催することにより、多世代の交流を促すとともに、地域コミュニティの活性化を図る。	300,000
4	坂上田村麻呂を活用した 地域活性化	坂ノ上田村麻呂公園 愛護会	地域のヒーローである坂上田村麻呂をキャラクター化し、地域の安心安全に関する情報を子ども達や保護者にわかりやすく啓発することで、地域の安心安全を推進するとともに、地域の活性化や自分の住んでいる地域に誇りを持つことができる社会の実現に寄与することを目指す。	300,000
5	AWR 介護生活安定・ 介護離職防止事業	AWR「もうひとつの働き 方・もうひとつの生き 方」協議会	やむを得ない介護離職によって、生活を脅かされ、自殺や路上生活を強いられるケースが増えている。これらを防止するための仕事と介護が両立が可能な仕組みを実現するために、勉強会やセミナーを実施する。	80,000
6	高齢者認知症予備軍の スマホ学習会と研修会	特定非営利活動法人 山科未来地図 E-wa（い〜わ）！！山科	スマホを活用して、シニア世代の居場所づくりと地域コミュニティに取り組む活動として、高齢者認知症進行防止と生活自立支援を目的とする。	141,000
計				1,395,000

2 継続事業（1団体）

(単位：円)

番号	事業名	大学・団体名	事業概要	補助 予定額
1	子育て支援コンサート「みんなであつろぐコンサート～“ほんもの”の音楽を楽しもう～」	シアターアカンパニ 運営委員会	小さい子どもを育てる保護者は、気後れしたりして、なかなか質の高い生演奏を聴く機会に恵まれない。そうした皆さんにクラシックとジャズのプロの演奏を提供する。一時の間、保育教諭に子どもを預けて子育て相談サービスを利用していただく。	123,520

※ 補助予定額 総計

1,518,520

平成 29 年度共汗型事業（案）の概要について

＜基本施策 1：環境を守り継ぐ＞

- 1 山科区 2 万人まち美化作戦【担当：地域力推進室】 予算額：270 千円
山科区を区民みんなの手で、ごみのない美しいまちにしていけるため、区内 13 学区自治連合会を中心に、地域住民が一斉に美化活動を展開することにより、区内はもとより広く全市に向けて、まちの美化をアピールする。

＜基本施策 2：まちの魅力・観光を磨く＞

- 2 京都・やましの観光ウィーク【担当：地域力推進室】 予算額：425 千円
山科の観光情報及びまちの魅力を発信し、観光客の誘致につなげ、山科の賑わいと活力を一層創出するため、秋の観光シーズン等における観光振興に取り組む。

＜基本施策 4：保健・福祉・子育て支援を充実させる＞

- 3 山科区健康寿命延伸プロジェクト【担当：支援課】 予算額：480 千円
山科区の高齢化が進行する中、区内の高齢者が今後とも元気で暮らし続けるために、区民一人ひとりが健康寿命に効果的な生活習慣を知り実践する“心”の健康寿命延伸体験事業を行う。
また、認知症等の見守りや支援を必要とする高齢者だけでなく、現在、元気に生活している高齢者についても、突然の体調悪化や事故等の異変を速やかに察知し対応し、引き続き地域で健康寿命を保ちつつ安心・安全に暮らし続けられるように、山科区の強みである「地域力」による見守りネットワークに新聞販売所によるネットワークを重層的整備した高齢者支援ネットワークの充実・強化を継続する。
- 4 やましの子育て情報発信事業【担当：支援課】 予算額：400 千円
少子化・核家族化によって子育て経験や子育て情報が不足しがちとなっている未就園児を持つ親御さんの子育てを支援するため、山科区での子育て情報を提供する。情報を提供することで地域ぐるみの子育て支援とつながり、子育ての楽しさ、心の豊かさを促す。
- 5 山科区フリースペースの設置・運営【担当：支援課】 予算額：883 千円
社会的に孤立する人をつくらないため、区民、山科区地域福祉推進委員会、地域福祉関係者の共汗・協働により、高齢者も子育て世帯も障害者も、気軽に立ち寄れる「フリースペース」を設置し、くつろぎ、交流、相談、ボランティア育成の場とすることにより、地域社会の絆づくりの場とする。
平成 24 年 12 月から事業を開始し、平成 28 年度中に区内 13 箇所で実施。平成 29 年度は、実施内容の充実や事業の安定した継続のための取組を進める。

6 やましなお誕生おめでとう事業【担当：支援課】 予算額：110 千円

子育て家庭を地域ぐるみでサポートする取組の一つとして、山科区で出生した赤ちゃんのお宅へ地域の民生委員・児童委員が家庭訪問をし、育児相談や身近な子育て情報の提供等を行う。

平成 27 年度 4 学区からモデル実施し、平成 29 年度は区内全 13 学区で実施する。

7 健康づくりサポーター（キャット・ハンズ）と歩く健康ウォーキング【担当：健康づくり推進課】 予算額：387 千円

地域の健康増進・生活習慣病対策について保健センターと共に考え、活力あるまちづくりを目指すボランティア（健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」）を主体に、年間複数回のウォーキングを実施する。

平成 29 年度は、ウォーキングに加え、ウォーキング時の安全面に取り組む A E D ウォーキングマップの作成のほか、「いつまでも自分の足で歩き続ける」健康づくりを推進するため、ロコモ予防体操の普及とパンフレット作成に取り組む。

＜基本施策 5：地域のつながりを強める＞

8 やましな輝きプロジェクト（仮称）（新規）【詳細は別紙】【担当：地域力推進室】 予算額：13,000 千円

区民一人ひとりが、いきいきと輝き、活躍できる「住みやすい」「住み続けたい」まちの実現のため、安心・安全や子育て環境の充実、健康長寿などの観点から、「笑顔と花いっぱいプロジェクト」「赤ちゃんフェア」等の区民参加型の各種事業を実施する。

そして、「住みやすいまち」の魅力を広く発信することにより、「住みたいまち」「住んでみたいまち」を目指していく。

9 山科区民ふれあい事業【担当：地域力推進室】 予算額：5,765 千円

ふれあい“やましな”区民まつり、「ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭」、
「ふれあい“やましな”区民史跡の探訪」及び「山科区フラワーロード推進事業」を実施する。

10 やましなGOGOカフェの運営【担当：地域力推進室】 予算額：907 千円

山科に関心を持つ人が出会い、つながる場、活動へのアイデアを育てるための場、行動のきっかけが見つかる場としてのカフェを定期的に開催する。

また、区の重要課題について、課題に関わる行政機関、学校、地域団体、市民活動支援団体等が集まり、現状やそれぞれが抱えている課題等を共有し、解決につながる場として、課題別カフェを開催する。

山科区は「やましな輝きプロジェクト」を推進します！

区民一人ひとりが輝き、まちが輝く。そんな「住みやすいまち」「住んでみたいまち」を目指し、山科区は全力で取り組みます。皆様の厚い御支援をお願いします！

安心・安全

■ 笑顔と花いっぱいプロジェクト

28年度は五条通に1,800個のプランターを設置
29年度も引き続き、区内主要道路で拡大予定



子育て環境充実

■ 28年度「赤ちゃんフェア」をより充実して継続実施

■ アプリを活用した子育て情報の発信



健康長寿

■ こころの健康寿命延伸事業

中高年齢の方々に地域交流の機会と
認知症予防に効果的な生活習慣
(清水焼制作体験、写経・写仏)を提案

■ アプリを活用した健康ウォーキングの促進



文化・芸術

■ 子ども向け芸術体験

■ 山科検定の継続実施



まちづくり

■ 「やましな子ども・若者会議（仮称）」の設置

小・中・高校生から大学生、
子育て世代など、幅広い世代の
参画を得て事業を企画・運営



山科区民向けスマートフォン・アプリ 「やましなプラス（仮称）」の運用開始

— 主な特徴 —

- 区役所だけでなく、各種団体、まちづくり団体等の情報を配信
- 公共交通乗換案内機能
- ハザードマップなどの防災情報
- 子育て情報
- 区内イベントカレンダー
- 区役所窓口の順番待ち状況の表示
- 「山科区へ転居をお考えの方へ」
- 区内スーパー等のチラシ掲載

★ 健康ウォーキング

歩数に応じて「やましなポイント」を付与！
ポイントは身近なお買い物に使える WAON や
T-ポイントなどと交換できます！



やましなプラス+



いつもの
くらしに
プラスα！

山科区の
あらゆる情報を
まとめて発信



その他、多種多様な取組を展開してまいります！

※写真にはイメージを含みます。

山科区民まちづくり会議の進め方について
 (「第2期山科区基本計画」の進ちょく評価方法の見直し)

1 これまでの進め方

- 平成 27 年度までは、区基本計画に掲げる「50 の取組」ごとに、その達成度について、区民まちづくり会議委員（以下「委員」という。）の主観に基づく 4 段階評価を実施してきた。
- しかし、これまでの実施方法については、「委員だけで判断するのではなく、無作為に区民を抽出して生の声を聞いてはどうか。」、「誰が評価しても適正に評価できる客観的な指標や数値目標を設定してはどうか。」といった指摘があった。

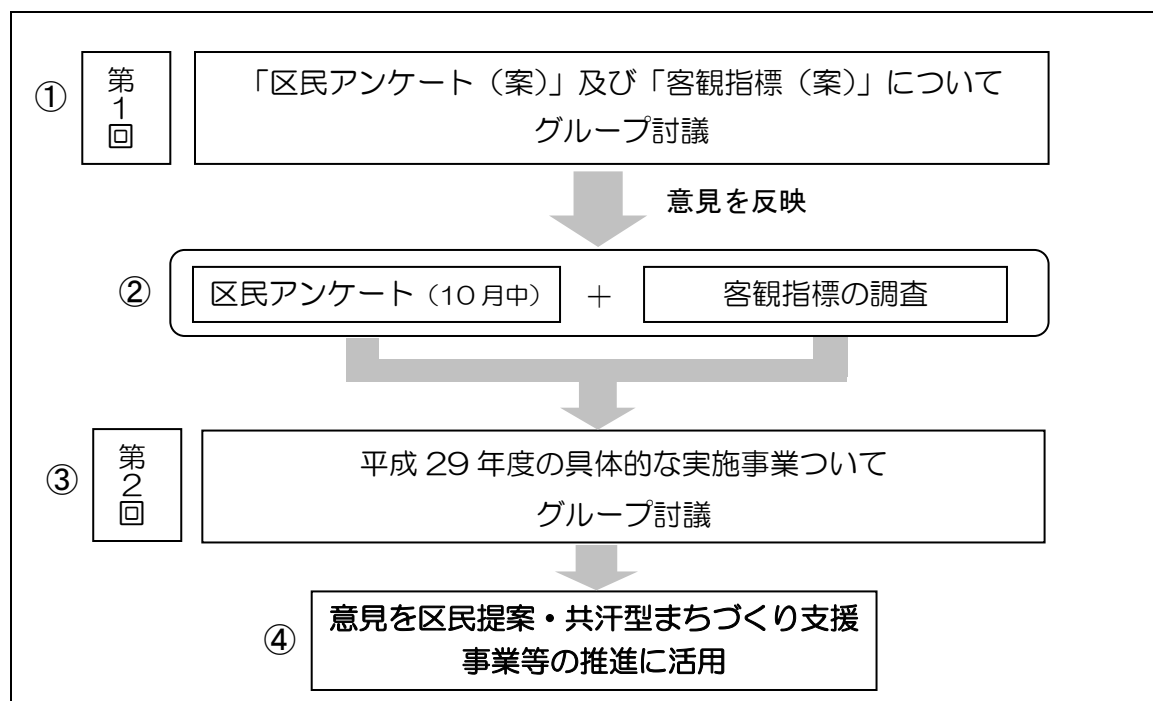
2 今後の進め方

進ちょく評価の客観性を一定担保するとともに、区民の実感を踏まえた評価とするため、「区民実感調査（区民アンケート）」及び「客観指標の設定」を行う。

<平成 28 年度の取組>

- ① 「区民アンケート（案）」及び「客観指標（案）」について、グループ討議し、区民アンケートの設問等に反映
- ② 区民アンケートの実施（10 月 4 日～10 月 21 日）、客観指標の実績調査
- ③ アンケート結果等を踏まえて、計画の進ちょく状況の評価、平成 29 年度の具体的な実施事業等についてグループ討議
- ④ 意見を区民提案・共汗型まちづくり支援事業等の推進に活用

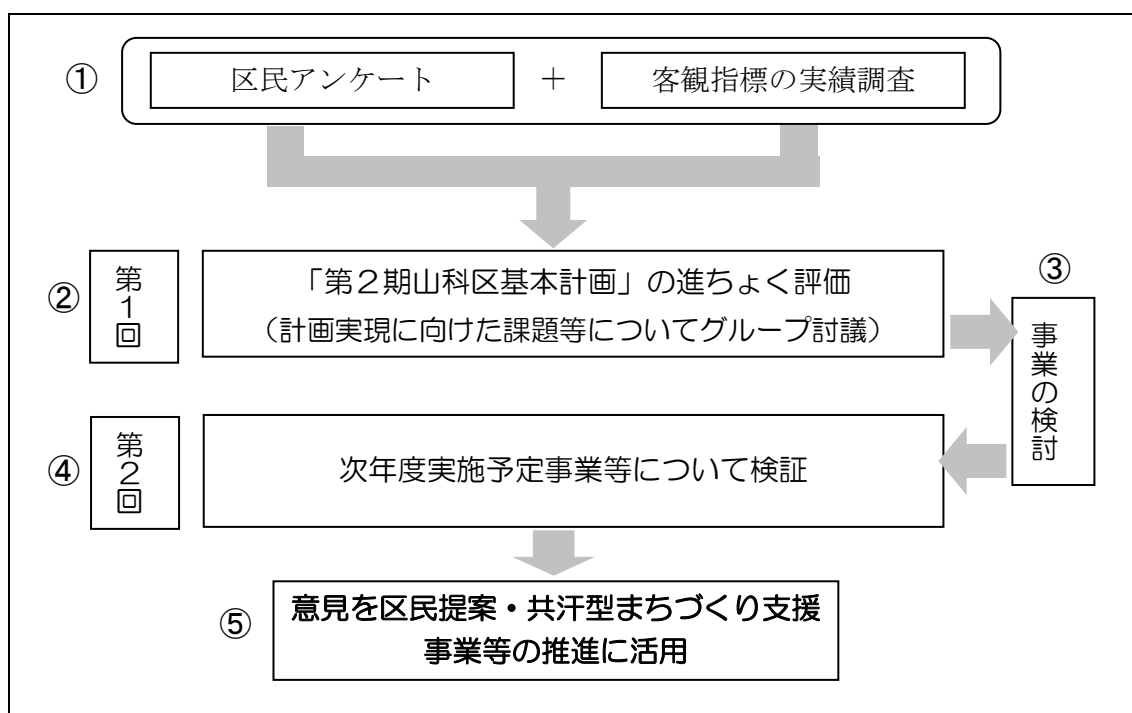
<平成 28 年度の取組フロー>



＜平成 29 年度以降の取組＞

- ① 「区民アンケート」及び「客観指標」の実績調査
- ② 第 1 回会議において、アンケート及び客観指標の結果等を踏まえ、「第 2 期山科区基本計画」の進ちよく評価【計画実現に向けた課題及び改善点についてグループ討議】
- ③ 意見等を踏まえ、区役所等において、次年度の実施事業等を検討
- ④ 第 2 回会議において、次年度の実施予定事業や将来的に取り組むべき事業について検証【5つの基本方針ごとにグループ討議】
- ⑤ 意見を区民提案・共汗型まちづくり支援事業等の推進に活用

＜見直し後（平成 29 年度以降）の取組フロー＞



「第2期山科区基本計画」等に関する

区民アンケート

集 計 結 果

山科区役所

1 調査概要

1 調査目的

平成 23 年に策定した「第 2 期山科区基本計画」（以下「計画」という。）の進ちょく状況に関する区民の実感等を把握し、計画に基づく今後の取組を検討するうえでの基礎資料とするため

2 調査対象者

18 歳以上の山科区民 3,000 人

（住民基本台帳（平成 28 年 9 月 1 日現在、外国人データを含む。）から無作為抽出）

3 調査方法

回答用紙への記入方式（郵送）

4 調査期間

平成 28 年 10 月 4 日（火）～21 日（金）

5 回答状況

回収数：971（回収率：32.4%）

2 回答者属性

(1) 学区別内訳

学 区	人 数 (人)	比 率 (%)
音 羽	69	7.1
音羽川	59	6.1
山 階	55	5.7
山階南	39	4.0
大 宅	91	9.4
鏡 山	86	8.9
勸 修	73	7.5
百 々	66	6.8
大 塚	55	5.7
小 野	52	5.4
安 朱	44	4.5
陵ヶ岡	46	4.7
西 野	25	2.6
不明・無回答	211	21.9
合計	971	100

(2) 男女別内訳

性 別	人 数 (人)	比 率 (%)
男	364	37.5
女	532	54.8
無回答	75	7.7
合計	971	100

(3) 年代別内訳

年 代	人 数 (人)	比 率 (%)
10 歳代	9	0.9
20 歳代	59	6.1
30 歳代	102	10.5
40 歳代	147	15.1
50 歳代	137	14.1
60 歳代	208	21.4
70 歳代	189	19.5
80 歳代以上	72	7.4
無回答	48	4.9
合計	971	100

(4) 職業別内訳

職 業	人 数 (人)	比 率 (%)
自営業・自由業	100	10.3
会社員・公務員 等給与所得者	260	26.8
主婦・主夫	245	25.2
無 職	199	20.5
学 生	20	2.1
その他	73	7.5
無回答	74	7.6
合計	971	100

(5) 居住年数別内訳

居住年数	人 数 (人)	比 率 (%)
5 年未満	87	9.0
10 年未満	67	6.9
30 年未満	250	25.7
30 年以上	509	52.4
無 回 答	58	6.0
合計	971	100

3 結果のあらまし

※特徴的な結果が表れた質問を抽出しています。

1 「第2期山科区基本計画」についての質問

(1) 基本施策1（環境を守り継ぐ）について

<自然環境、環境保全>

問1 山科区は、街路樹や公園・緑地、水辺空間など自然環境が豊かである。

問2 山科区では、ごみの減量、分別収集など、環境に優しい取組が進んでいる。

(傾向)

- 両質問とも、肯定的な回答が約6割を占め、自然環境の豊かさや、ごみの減量など、環境に優しい取組に対する区民の評価が高かった。

(2) 基本施策2（まちの魅力・観光を磨く）について

<まちの魅力>

問7 山科区では、いろいろなひとが、山科のまちに親しみ、まちと暮らしを十分に楽しんでいる。

問10 山科のまちの魅力を高めるために、必要なことは何だと思いますか。
(複数回答可)

(傾向)

- 問7は、肯定的な回答が約4割と、否定的な回答(約2割)を上回っており、多くの区民が、山科区を「住みやすいまち」と評価していることが分かった。
- 問10は、「観光資源の掘り起こしなど、観光振興の取組」との回答が最も多かった。

<文化・芸術活動、生涯学習>

問11 山科区では、気軽に文化・芸術活動を行ったり鑑賞したりすることができる。

問13 山科区は、幅広い世代が気軽に学ぶことができる機会や施設が充実している。

(傾向)

- 両質問とも、肯定的な回答は約2割に留まる一方で、否定的な回答が3割を超えており、文化・芸術活動や、生涯学習に関する更なる取組が必要と考えられる。

3 基本施策3（交通・都市基盤を強化する）について

<交通安全>

問14 山科区では、違法駐車や放置自転車が少なく、交通マナーがきちりと守られている。

(傾向)

- 約半数の人が、「交通マナーが守られていない」と回答しており、違法駐車や放置自転車の改善など、一層の交通マナー向上に取り組む必要がある。

＜公共交通整備＞

問16 山科区は、バス・地下鉄などの公共交通機関が整い、自家用車に頼らない移動が便利である。

(傾向)

- 3割以上の人が、公共交通の利便性に否定的な回答をしており、肯定的な回答は、約4割に留まった。

(4) 基本施策4（保健・福祉子育て支援を充実させる）について

＜子育て＞

問19 山科区では、子育て家庭のニーズに対応した保育サービスや相談機能が充実している。

問21 山科区を子育てしやすいまちにするために必要なことは何だと思いますか。
(複数回答可)

(傾向)

- 子育て支援の取組に関する質問では、肯定的な回答と否定的な回答が拮抗していた。また、必要な支援策としては、「子育て中でも働きやすい就業環境の整備」との回答が最も多かった。

＜学校教育＞

問22 山科区では、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育てている。

(傾向)

- 肯定的な回答が4割以上と、否定的な回答（約1割）を大きく上回っており、学校と家庭、地域が一体となり、子どもたちを育てていることが高く評価されている。

(5) 基本施策5（地域のつながりを強める）について

＜地域コミュニティ＞

問32 山科区では、町内会や自治会等の地域活動が活発である。

(傾向)

- 肯定的な回答が5割以上にのぼる一方で、否定的な回答は約1割に留まっており、地域コミュニティが機能しているとの区民の実感が高かった。

＜安心・安全＞

問36 山科区は、犯罪や事故が少なく、安心して暮らせるまちである。

(傾向)

- 体感治安に関しては、否定的な回答が半数近くあり、「平成28年中の人口当たり刑法犯認知件数（犯罪数）」が11行政区中で2番目に少ないという客観的事実と大きなギャップがあることが分かった。

2 その他、山科区政等についての質問

(1) 市民しんぶんについて

問43	あなたは、「市民しんぶん」(毎月2回発行)を読んでいますか。
問44	問43で「読んでいる」と答えた方にお尋ねします。あなたは、「市民しんぶん」をどの程度読んでいますか。
問45	問43で「読んでいない」と答えた方にお尋ねします。あなたが、「市民しんぶん」を読まない理由を教えてください。(複数回答可)
問46	あなたは、「市民しんぶん」以外で、市や区の施策や事業等の情報をどのような方法で得られていますか。(複数回答可)

(傾向)

- 「読んでいない」との回答が2割弱あり、その内訳は、「内容に興味を感じない」との回答が最も多く、また、「存在を知らない」との回答も一定数あった。区民に興味を持っていただく紙面の充実や「市民しんぶん」の認知度向上に取り組む必要がある。
- 問46は、「回覧板」と答えた人が最も多かった。

(2) 京都刑務所について

問47	あなたは、山科区に京都刑務所があることについて、どう思いますか
問48	京都刑務所の移転が可能である場合、その跡地について、あなたはどのように考えますか。(複数回答可)

(傾向)

- 「移転させるべきである」又は「誘致するものによっては、現在の場所から移転してもよい」との回答が約6割あり、「現在のままでよい」と答えた人(2割)を大きく上回った。
- 跡地活用については、「公園や広場」と答えた人が最も多く、以下、「文化芸術施設」、「福祉施設」と続いた。

4 質問事項と集計結果

1 「第2期山科区基本計画」についての質問

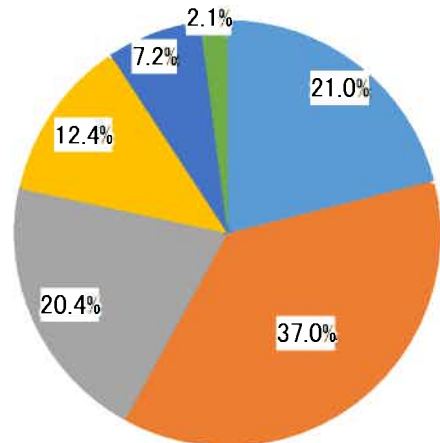
基本計画に掲げる5つの基本施策ごとに、設問を設けています。皆様が日頃感じておられることをお答えください。

基本施策1 環境を守り継ぐ

<環境>

問1 山科区は、街路樹や公園・緑地、水辺空間など自然環境が豊かである。

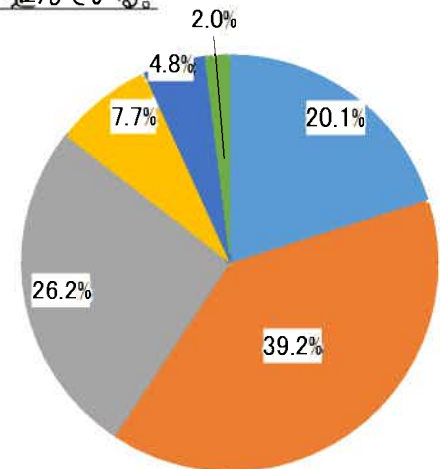
	回答	比率
そう思う	204	21.0%
どちらかというと思う	359	37.0%
どちらともいえない	198	20.4%
どちらかというと思わない	120	12.4%
そう思わない	70	7.2%
無回答	20	2.1%
合計	971	100.0%



<環境>

問2 山科区では、ごみの減量、分別収集など、環境に優しい取組が進んでいる。

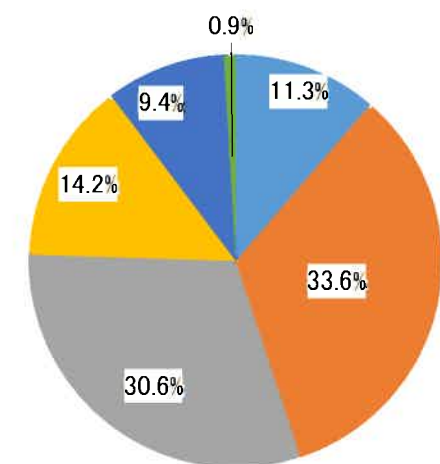
	回答	比率
そう思う	195	20.1%
どちらかというと思う	381	39.2%
どちらともいえない	254	26.2%
どちらかというと思わない	75	7.7%
そう思わない	47	4.8%
無回答	19	2.0%
合計	971	100.0%



<環境>

問3 山科区は、散乱ごみが少なく、美しいまちである。

	回答	比率
そう思う	110	11.3%
どちらかというと思う	326	33.6%
どちらともいえない	297	30.6%
どちらかというと思わない	138	14.2%
そう思わない	91	9.4%
無回答	9	0.9%
合計	971	100.0%

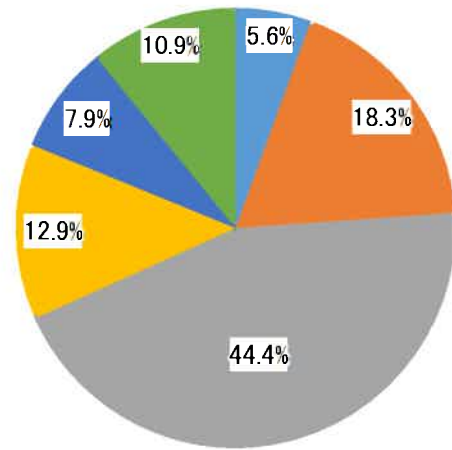


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<環境>

問4 山科区では、学校や地域において、環境について学ぶ機会が充実している。

	回答	比率
そう思う	54	5.6%
どちらかというと思う	178	18.3%
どちらともいえない	431	44.4%
どちらかというと思わない	125	12.9%
そう思わない	77	7.9%
無回答	106	10.9%
合計	971	100.0%

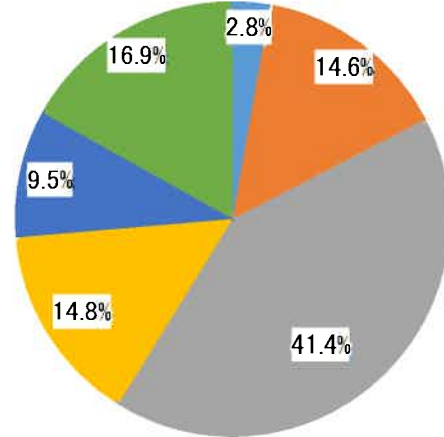


基本施策2 まちの魅力・観光を磨く

<伝統産業>

問5 山科区では、近年、京焼・清水焼等の伝統産業の魅力が増し、後継者や担い手の育成が進んでいる。

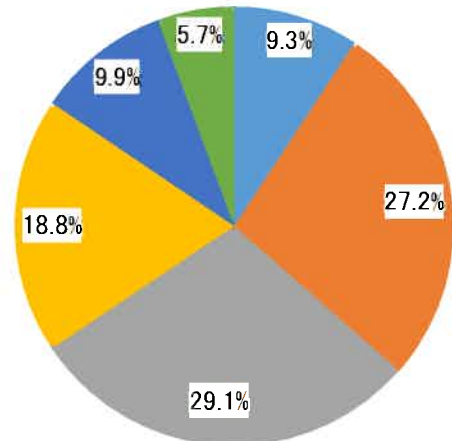
	回答	比率
そう思う	27	2.8%
どちらかというと思う	142	14.6%
どちらともいえない	402	41.4%
どちらかというと思わない	144	14.8%
そう思わない	92	9.5%
無回答	164	16.9%
合計	971	100.0%



<農業>

問6 山科区では、農産物の地産地消や食育の取組が進んでおり、農業や山科産農産物を身近に感じることができる。

	回答	比率
そう思う	90	9.3%
どちらかというと思う	264	27.2%
どちらともいえない	283	29.1%
どちらかというと思わない	183	18.8%
そう思わない	96	9.9%
無回答	55	5.7%
合計	971	100.0%

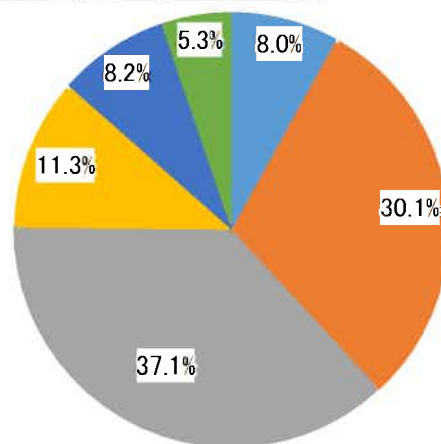


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<まちの魅力・観光>

問7 山科区では、いろいろなひとが、山科のまちに親しみ、まちと暮らしを十分に楽しんでいる。

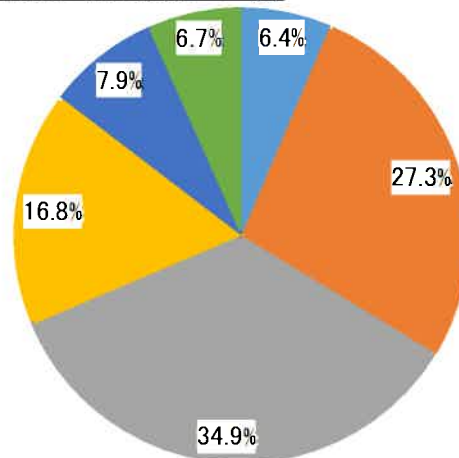
	回答	比率
そう思う	78	8.0%
どちらかというと思う	292	30.1%
どちらともいえない	360	37.1%
どちらかというと思わない	110	11.3%
そう思わない	80	8.2%
無回答	51	5.3%
合計	971	100.0%



<まちの魅力・観光>

問8 山科区では、歴史や行事、自然、伝統産業などの観光資源が有効に活用されている。

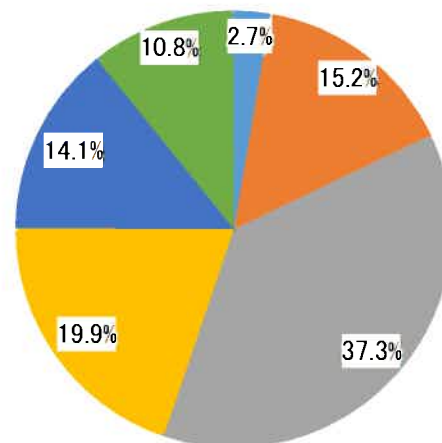
	回答	比率
そう思う	62	6.4%
どちらかというと思う	265	27.3%
どちらともいえない	339	34.9%
どちらかというと思わない	163	16.8%
そう思わない	77	7.9%
無回答	65	6.7%
合計	971	100.0%



<まちの魅力・観光>

問9 山科区では、NPOやボランティア、大学などが連携し、観光客をもてなす体制が整えられている。

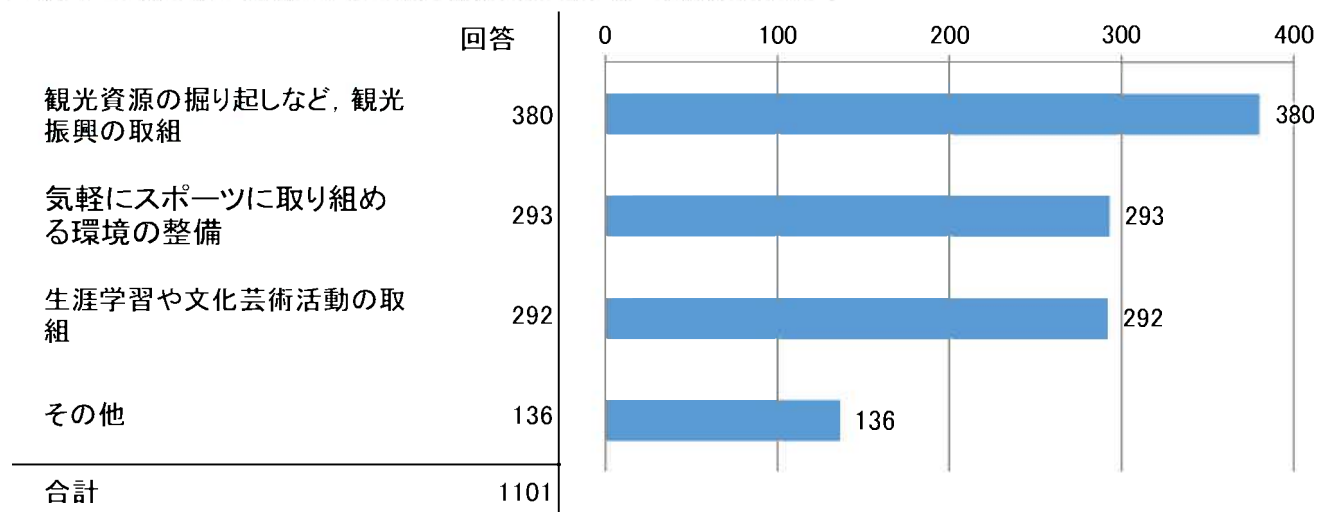
	回答	比率
そう思う	26	2.7%
どちらかというと思う	148	15.2%
どちらともいえない	362	37.3%
どちらかというと思わない	193	19.9%
そう思わない	137	14.1%
無回答	105	10.8%
合計	971	100.0%



■ そう思う
■ どちらかというと思う
■ どちらともいえない
■ どちらかというと思わない
■ そう思わない
■ 無回答

<まちの魅力・観光>

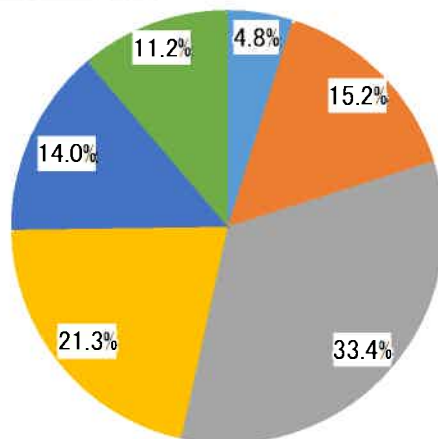
問10 山科のまちの魅力を高めるために、必要なことは何だと思いますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



＜文化・芸術＞

問11 山科区では、気軽に文化・芸術活動を行ったり鑑賞したりすることができる。

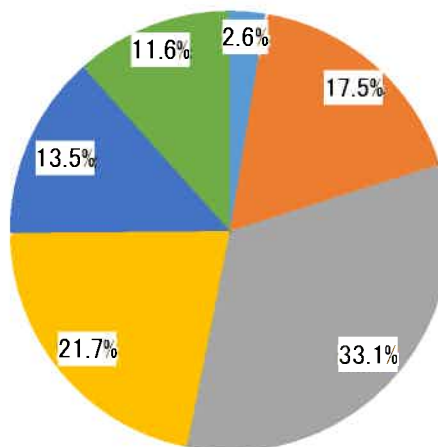
	回答	比率
そう思う	47	4.8%
どちらかというと思う	148	15.2%
どちらともいえない	324	33.4%
どちらかというと思わない	207	21.3%
そう思わない	136	14.0%
無回答	109	11.2%
合計	971	100.0%



＜スポーツ＞

問12 山科区は、スポーツを楽しむ機会が充実している。

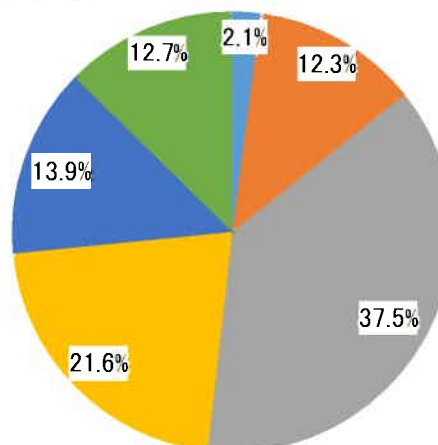
	回答	比率
そう思う	25	2.6%
どちらかというと思う	170	17.5%
どちらともいえない	321	33.1%
どちらかというと思わない	211	21.7%
そう思わない	131	13.5%
無回答	113	11.6%
合計	971	100.0%



＜生涯学習＞

問13 山科区は、幅広い世代が気軽に学ぶことができる機会や施設が充実している。

	回答	比率
そう思う	20	2.1%
どちらかというと思う	119	12.3%
どちらともいえない	364	37.5%
どちらかというと思わない	210	21.6%
そう思わない	135	13.9%
無回答	123	12.7%
合計	971	100.0%



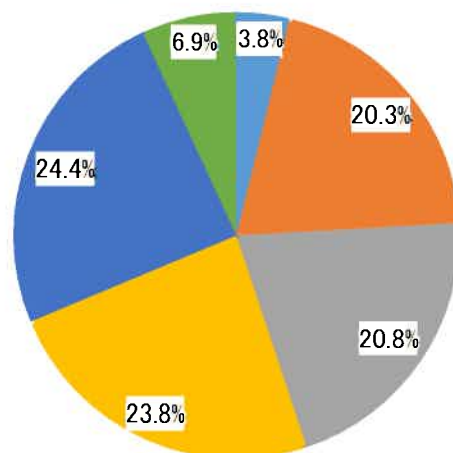
- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

基本施策3 交通・都市基盤を強化する

<交通安全>

問14 山科区では、違法駐車や放置自転車が少なく、交通マナーがきちっと守られている。

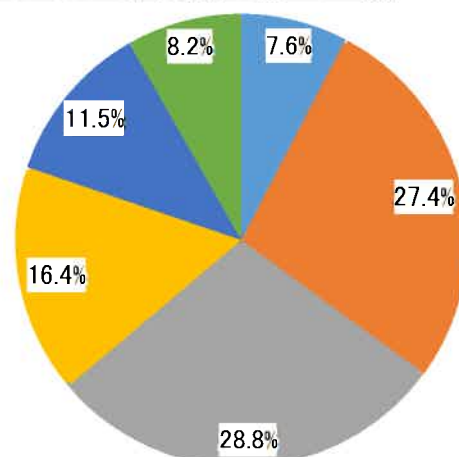
	回答	比率
そう思う	37	3.8%
どちらかというと思う	197	20.3%
どちらともいえない	202	20.8%
どちらかというと思わない	231	23.8%
そう思わない	237	24.4%
無回答	67	6.9%
合計	971	100.0%



<歩くまち>

問15 山科区は、歩道や水辺の空間など、まちの魅力を歩いて味わうことができる環境が整っている。

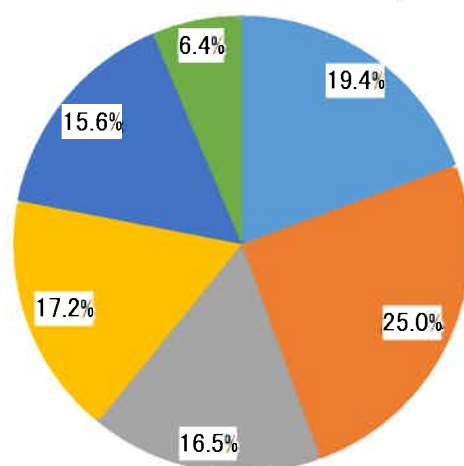
	回答	比率
そう思う	74	7.6%
どちらかというと思う	266	27.4%
どちらともいえない	280	28.8%
どちらかというと思わない	159	16.4%
そう思わない	112	11.5%
無回答	80	8.2%
合計	971	100.0%



<公共交通>

問16 山科区は、バス・地下鉄などの公共交通機関が整い、自家用車に頼らない移動が便利である。

	回答	比率
そう思う	188	19.4%
どちらかというと思う	243	25.0%
どちらともいえない	160	16.5%
どちらかというと思わない	167	17.2%
そう思わない	151	15.6%
無回答	62	6.4%
合計	971	100.0%

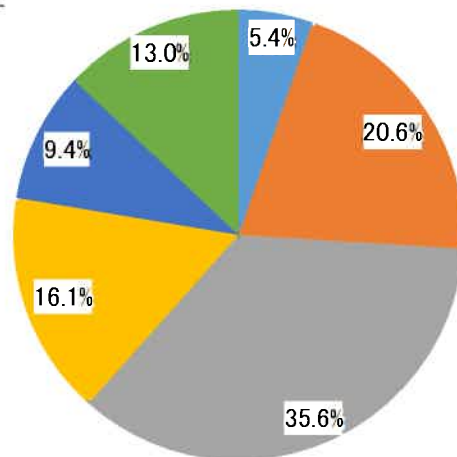


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<災害に強い都市構造>

問17 山科区では、大雨時にも安心できる治水対策が進んでいる。

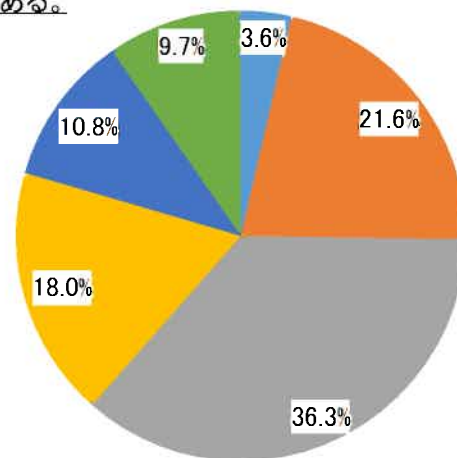
	回答	比率
そう思う	52	5.4%
どちらかというと思う	200	20.6%
どちらともいえない	346	35.6%
どちらかというと思わない	156	16.1%
そう思わない	91	9.4%
無回答	126	13.0%
合計	971	100.0%



<景観・拠点づくり>

問18 山科区は、個性的なまちなみや景観が守られ、美しいまちである。

	回答	比率
そう思う	35	3.6%
どちらかというと思う	210	21.6%
どちらともいえない	352	36.3%
どちらかというと思わない	175	18.0%
そう思わない	105	10.8%
無回答	94	9.7%
合計	971	100.0%



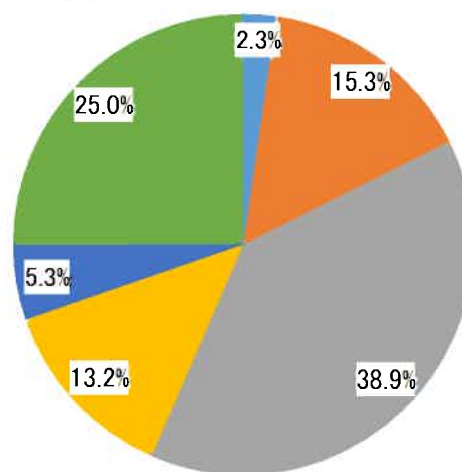
- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

基本施策4 保健・福祉子育て支援を充実させる

<子育て>

問19 山科区では、子育て家庭のニーズに対応した保育サービスや相談機能が充実している。

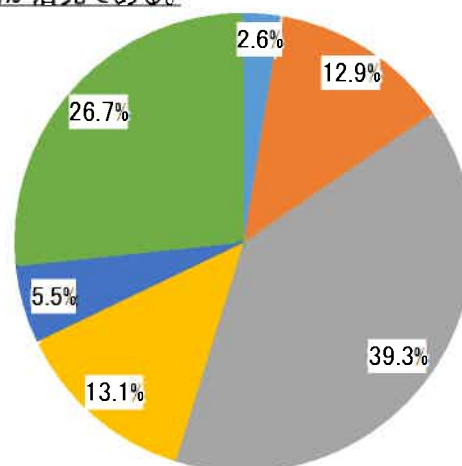
	回答	比率
そう思う	22	2.3%
どちらかというと思う	149	15.3%
どちらともいえない	378	38.9%
どちらかというと思わない	128	13.2%
そう思わない	51	5.3%
無回答	243	25.0%
合計	971	100.0%



<子育て>

問20 山科区では、子育てサロンなど、子育て世帯を支援する活動が活発である。

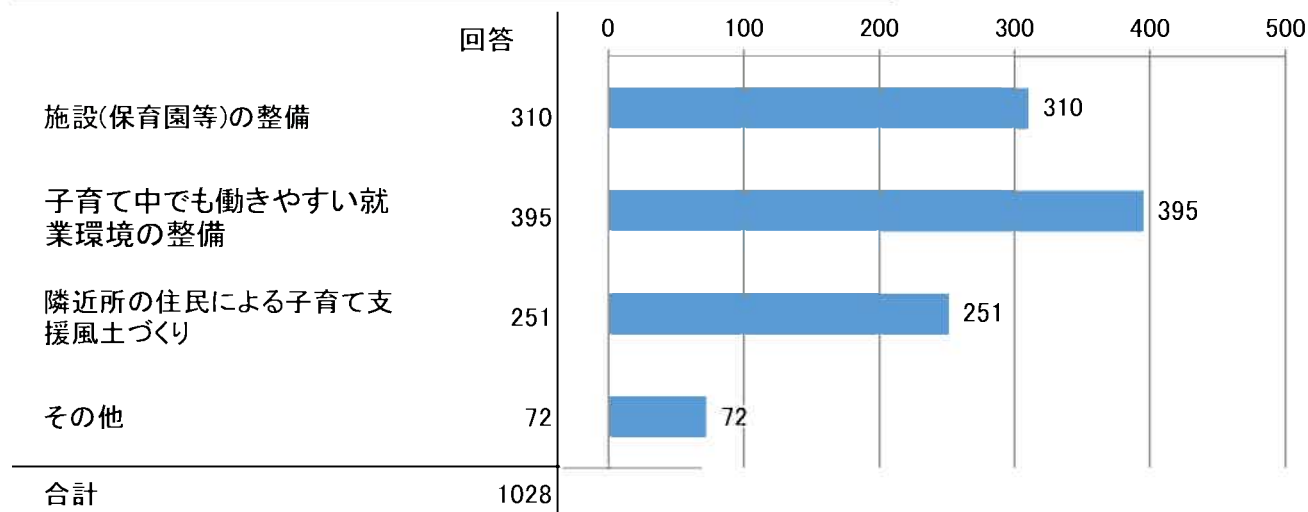
	回答	比率
そう思う	25	2.6%
どちらかというと思う	125	12.9%
どちらともいえない	382	39.3%
どちらかというと思わない	127	13.1%
そう思わない	53	5.5%
無回答	259	26.7%
合計	971	100.0%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<子育て>

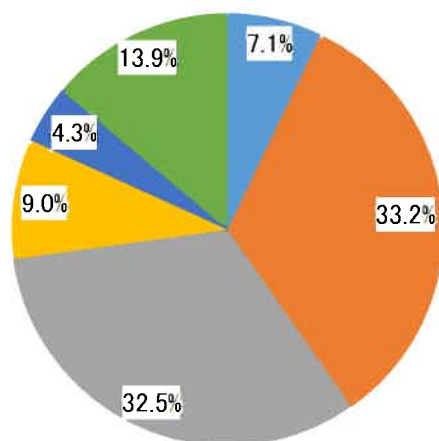
問21 山科区を、子育てしやすいまちにするために必要なことは何だと思いますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



<学校教育>

問22 山科区では、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育んでいる。

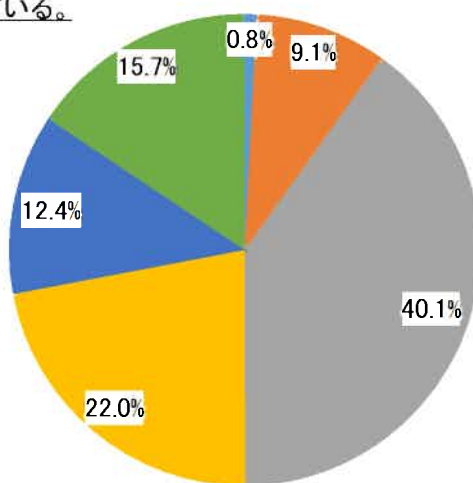
	回答	比率
そう思う	69	7.1%
どちらかというと思う	322	33.2%
どちらともいえない	316	32.5%
どちらかというと思わない	87	9.0%
そう思わない	42	4.3%
無回答	135	13.9%
合計	971	100.0%



<青少年育成>

問23 山科区では、若者が活動する場や情報が十分に提供されている。

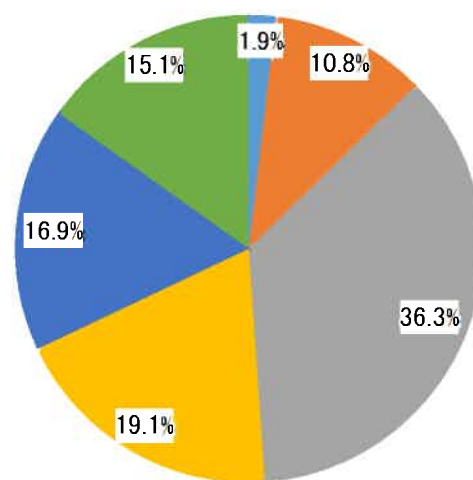
	回答	比率
そう思う	8	0.8%
どちらかというと思う	88	9.1%
どちらともいえない	389	40.1%
どちらかというと思わない	214	22.0%
そう思わない	120	12.4%
無回答	152	15.7%
合計	971	100.0%



<青少年育成>

問24 山科区では、子どもの非行防止の取組が充実している。

	回答	比率
そう思う	18	1.9%
どちらかというと思う	105	10.8%
どちらともいえない	352	36.3%
どちらかというと思わない	185	19.1%
そう思わない	164	16.9%
無回答	147	15.1%
合計	971	100.0%

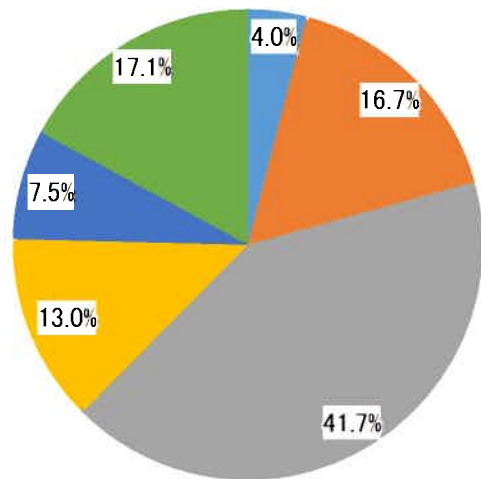


- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらともいえない
- ▩ どちらかというと思わない
- ▤ そう思わない
- 無回答

<障害者福祉>

問25 山科区では、障害のある人、また、その家族を支える生活支援が充実している。

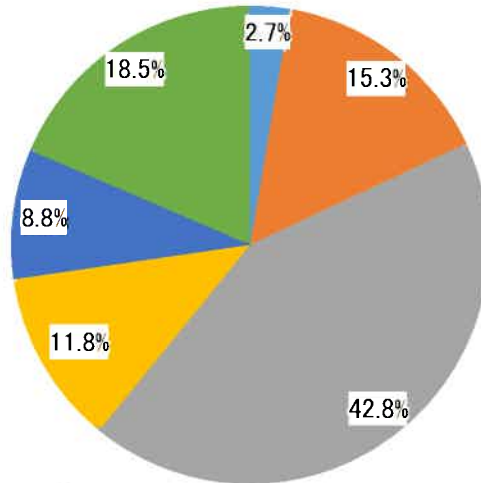
	回答	比率
そう思う	39	4.0%
どちらかというと思う	162	16.7%
どちらともいえない	405	41.7%
どちらかというと思わない	126	13.0%
そう思わない	73	7.5%
無回答	166	17.1%
合計	971	100.0%



<障害者福祉>

問26 山科区では、障害のある人の社会参加を守る環境づくりが進んでいる。

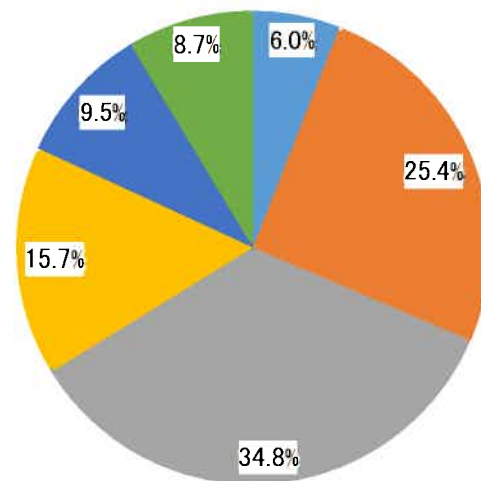
	回答	比率
そう思う	26	2.7%
どちらかというと思う	149	15.3%
どちらともいえない	416	42.8%
どちらかというと思わない	115	11.8%
そう思わない	85	8.8%
無回答	180	18.5%
合計	971	100.0%



<健康>

問27 山科区では、利用しやすく、相談しやすい医療体制が充実している。

	回答	比率
そう思う	58	6.0%
どちらかというと思う	247	25.4%
どちらともいえない	338	34.8%
どちらかというと思わない	152	15.7%
そう思わない	92	9.5%
無回答	84	8.7%
合計	971	100.0%

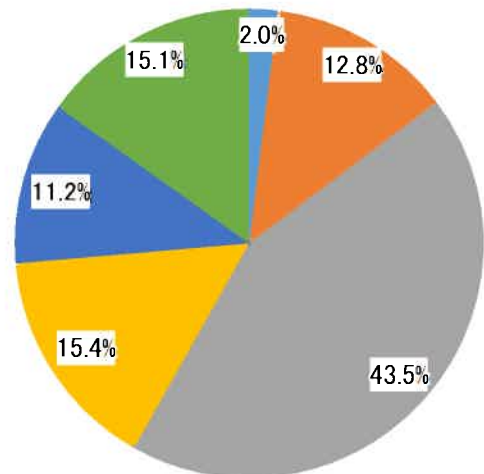


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<人権文化>

問28 山科区では、普段の生活の中で人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いている。

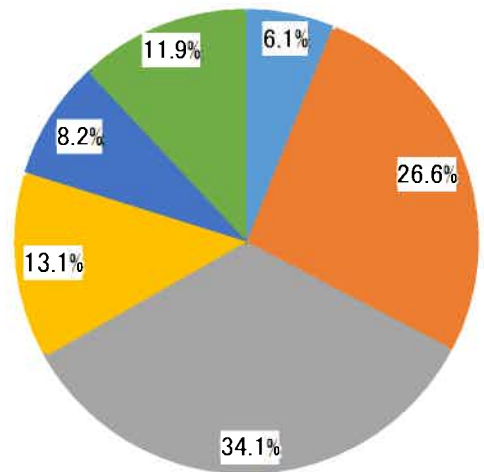
	回答	比率
そう思う	19	2.0%
どちらかというと思う	124	12.8%
どちらともいえない	422	43.5%
どちらかというと思わない	150	15.4%
そう思わない	109	11.2%
無回答	147	15.1%
合計	971	100.0%



<高齢者福祉>

問29 山科区では、高齢者や、その家族を支えるサービスを行う施設が充実している。

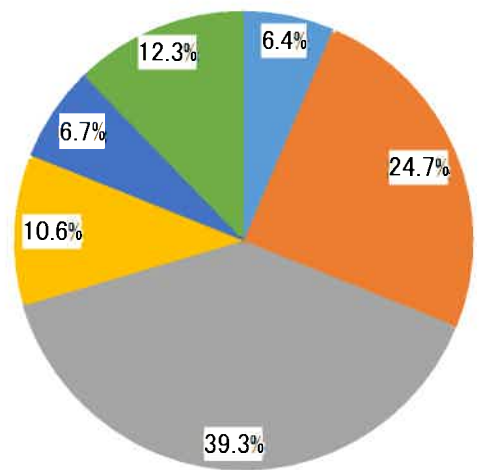
	回答	比率
そう思う	59	6.1%
どちらかというと思う	258	26.6%
どちらともいえない	331	34.1%
どちらかというと思わない	127	13.1%
そう思わない	80	8.2%
無回答	116	11.9%
合計	971	100.0%



<高齢者福祉>

問30 山科区では、高齢者の地域活動への参加や、それに対する支援が充実している。

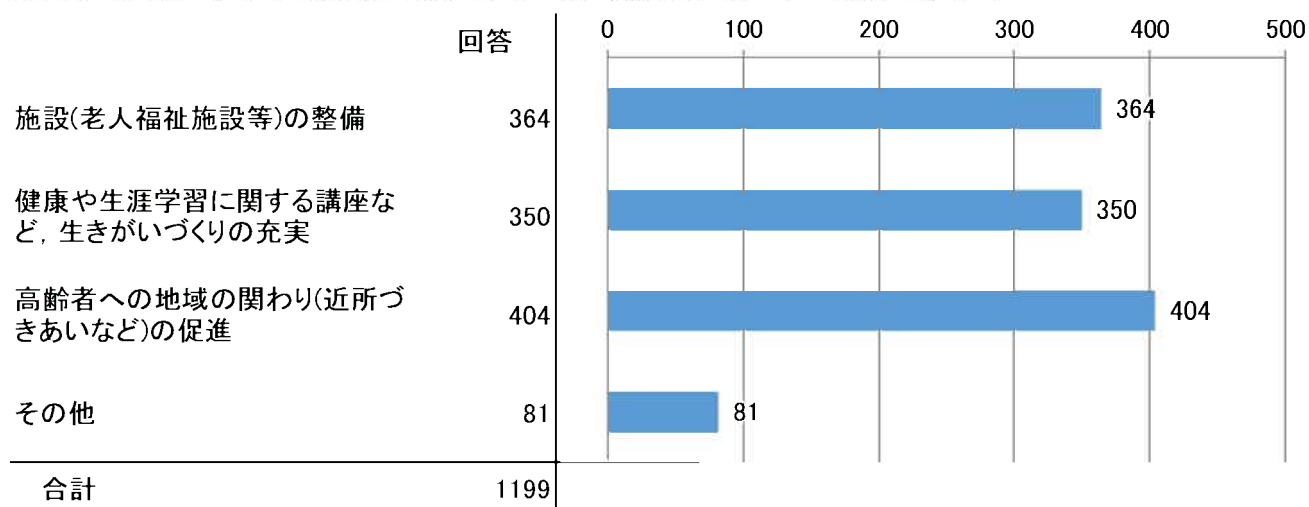
	回答	比率
そう思う	62	6.4%
どちらかというと思う	240	24.7%
どちらともいえない	382	39.3%
どちらかというと思わない	103	10.6%
そう思わない	65	6.7%
無回答	119	12.3%
合計	971	100.0%



- そう思う
- どちらかというと思う
- ▨ どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- ▨ そう思わない
- 無回答

＜高齢者福祉＞

問31 年齢を重ねてもいきいきと暮らせるまちにするために必要なことは何だと思いませんか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞

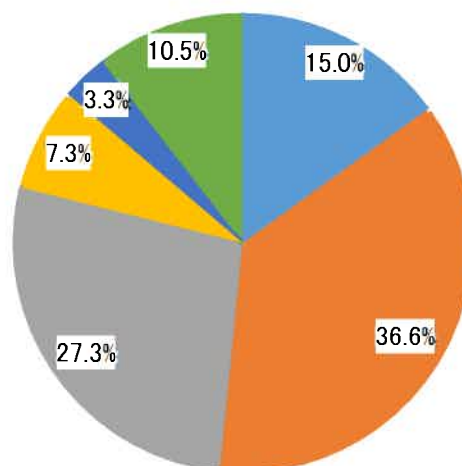


基本施策5 地域のつながりを強める

<地域コミュニティ>

問32 山科区では、町内会や自治会等の地域活動が活発である。

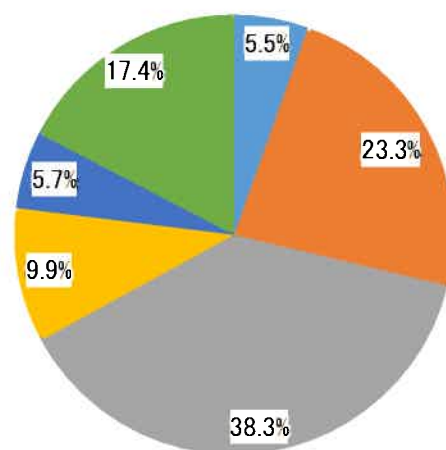
	回答	比率
そう思う	146	15.0%
どちらかというと思う	355	36.6%
どちらともいえない	265	27.3%
どちらかというと思わない	71	7.3%
そう思わない	32	3.3%
無回答	102	10.5%
合計	971	100.0%



<地域コミュニティ>

問33 山科区では、町内会や自治会等の地域の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみあっている。

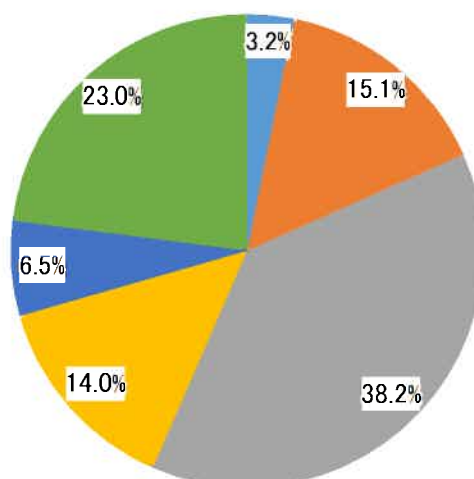
	回答	比率
そう思う	53	5.5%
どちらかというと思う	226	23.3%
どちらともいえない	372	38.3%
どちらかというと思わない	96	9.9%
そう思わない	55	5.7%
無回答	169	17.4%
合計	971	100.0%



<市民活動>

問34 山科区では、NPOやボランティア組織など、多様な担い手が活発に活動している。

	回答	比率
そう思う	31	3.2%
どちらかというと思う	147	15.1%
どちらともいえない	371	38.2%
どちらかというと思わない	136	14.0%
そう思わない	63	6.5%
無回答	223	23.0%
合計	971	100.0%

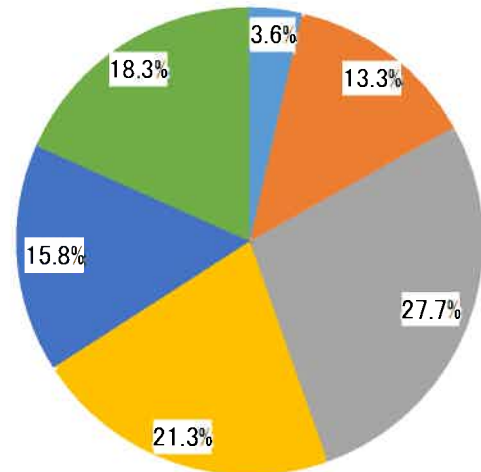


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<大学>

問35 山科区では、大学の市民向けの講座や地域との交流が行われるなど、大学が身近に感じられる。

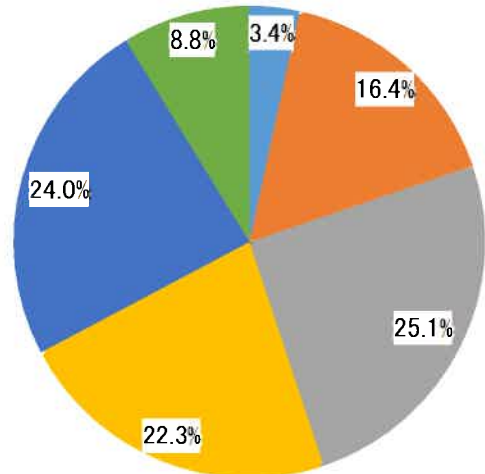
	回答	比率
そう思う	35	3.6%
どちらかというと思う	129	13.3%
どちらともいえない	269	27.7%
どちらかというと思わない	207	21.3%
そう思わない	153	15.8%
無回答	178	18.3%
合計	971	100.0%



<安心安全>

問36 山科区は、犯罪や事故が少なく、安心して暮らせるまちである。

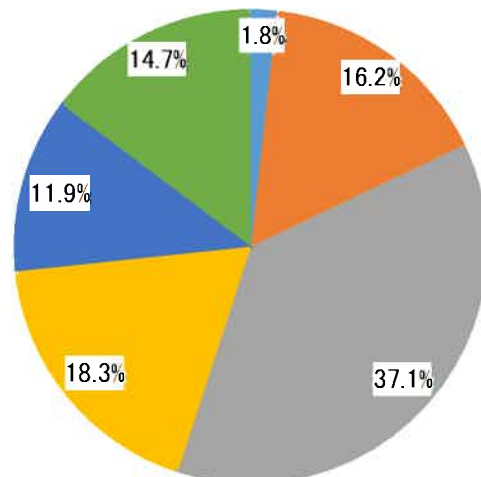
	回答	比率
そう思う	33	3.4%
どちらかというと思う	159	16.4%
どちらともいえない	244	25.1%
どちらかというと思わない	217	22.3%
そう思わない	233	24.0%
無回答	85	8.8%
合計	971	100.0%



<安心安全>

問37 山科区では、平常時から、地域ぐるみで暮らしの安心を守る仕組みが充実している。

	回答	比率
そう思う	17	1.8%
どちらかというと思う	157	16.2%
どちらともいえない	360	37.1%
どちらかというと思わない	178	18.3%
そう思わない	116	11.9%
無回答	143	14.7%
合計	971	100.0%

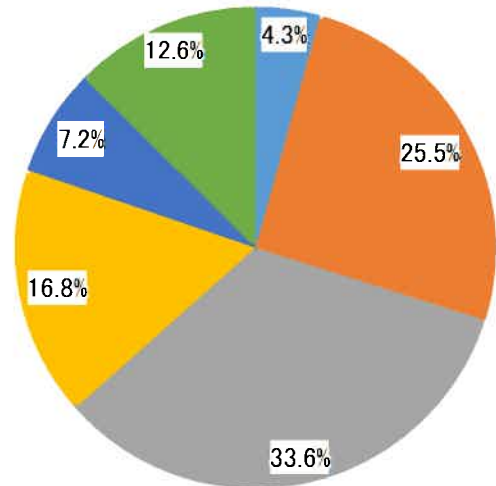


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<地域防災>

問38 山科区では、防災訓練や連絡網の整備など、災害に備える取組が充実している。

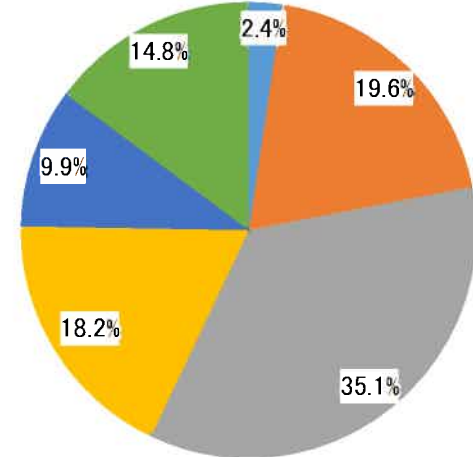
	回答	比率
そう思う	42	4.3%
どちらかというと思う	248	25.5%
どちらともいえない	326	33.6%
どちらかというと思わない	163	16.8%
そう思わない	70	7.2%
無回答	122	12.6%
合計	971	100.0%



<地域防災>

問39 山科区では、災害発生時に、地域ぐるみで支えあう仕組みが充実している。

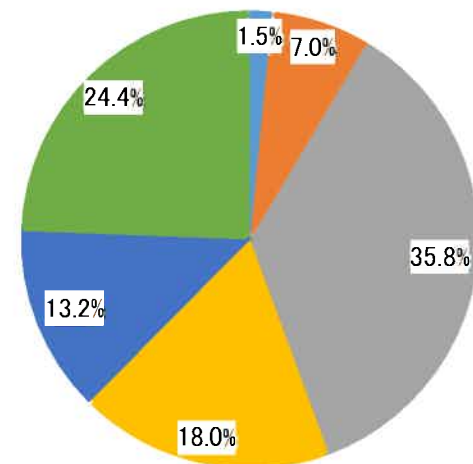
	回答	比率
そう思う	23	2.4%
どちらかというと思う	190	19.6%
どちらともいえない	341	35.1%
どちらかというと思わない	177	18.2%
そう思わない	96	9.9%
無回答	144	14.8%
合計	971	100.0%



<市民協働>

問40 山科区では、市や区の施策や事業等について、企画段階から参画する機会が十分にある。

	回答	比率
そう思う	15	1.5%
どちらかというと思う	68	7.0%
どちらともいえない	348	35.8%
どちらかというと思わない	175	18.0%
そう思わない	128	13.2%
無回答	237	24.4%
合計	971	100.0%

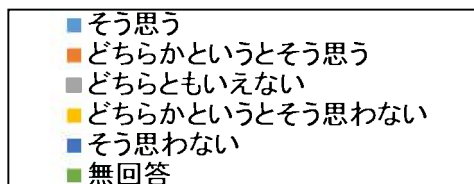
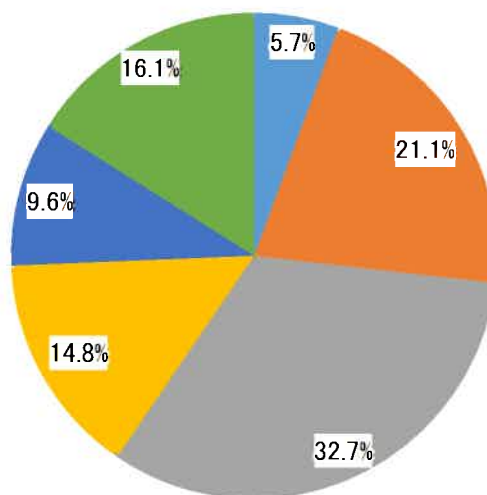


- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらともいえない
- どちらかというと思わない
- そう思わない
- 無回答

<行政サービス>

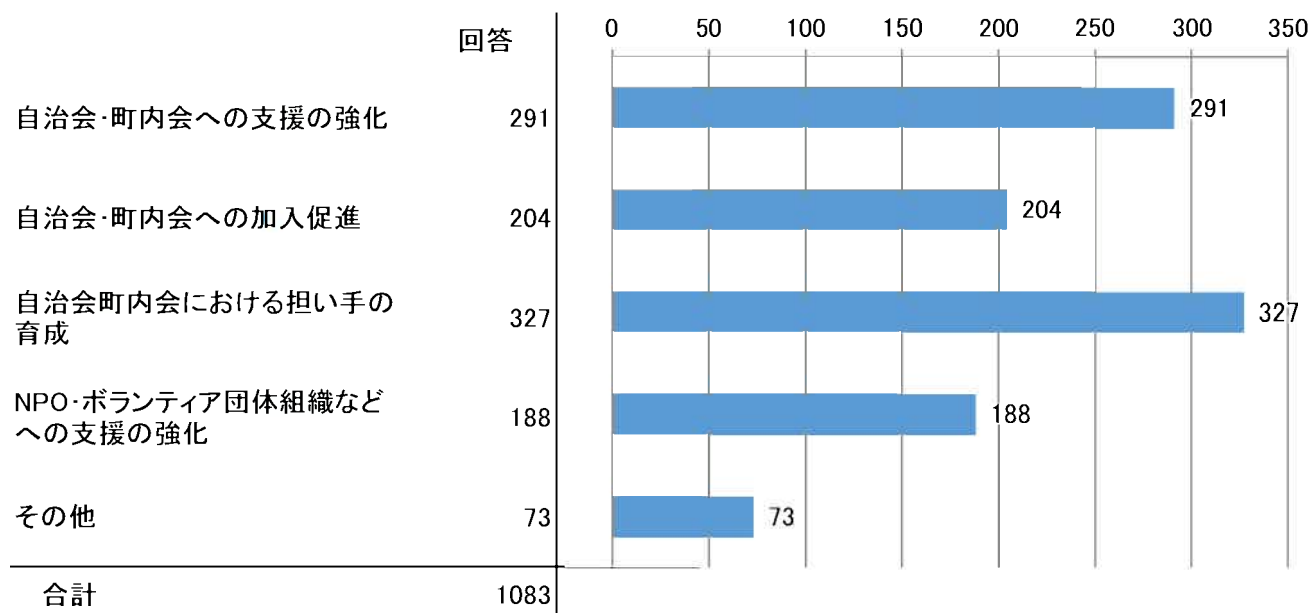
問41 山科区役所では、便利で、区民の立場に立った円滑な行政サービスが提供されている。

	回答	比率
そう思う	55	5.7%
どちらかというと思う	205	21.1%
どちらともいえない	318	32.7%
どちらかというと思わない	144	14.8%
そう思わない	93	9.6%
無回答	156	16.1%
合計	971	100.0%



<地域のコミュニティ・市民活動>

問42 山科区の地域のつながりを強めるために、必要なことは何だと思いますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞

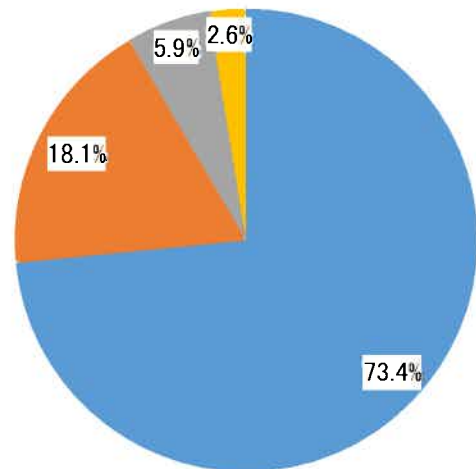
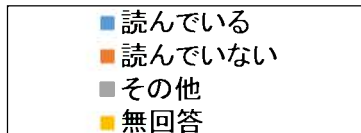


2 その他、山科区政等についての質問

<市民しんぶん>

問43 あなたは、「市民しんぶん」(毎月2回発行。区内全世帯に配布しています。)を読んでいますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答不可＞

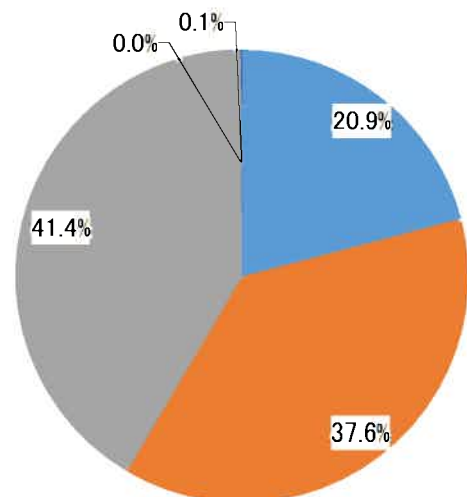
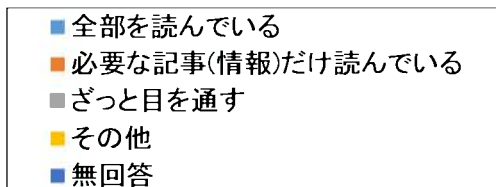
	回答	比率
読んでいる	713	73.4%
読んでいない	176	18.1%
その他	57	5.9%
無回答	25	2.6%
合計	971	100.0%



<市民しんぶん>

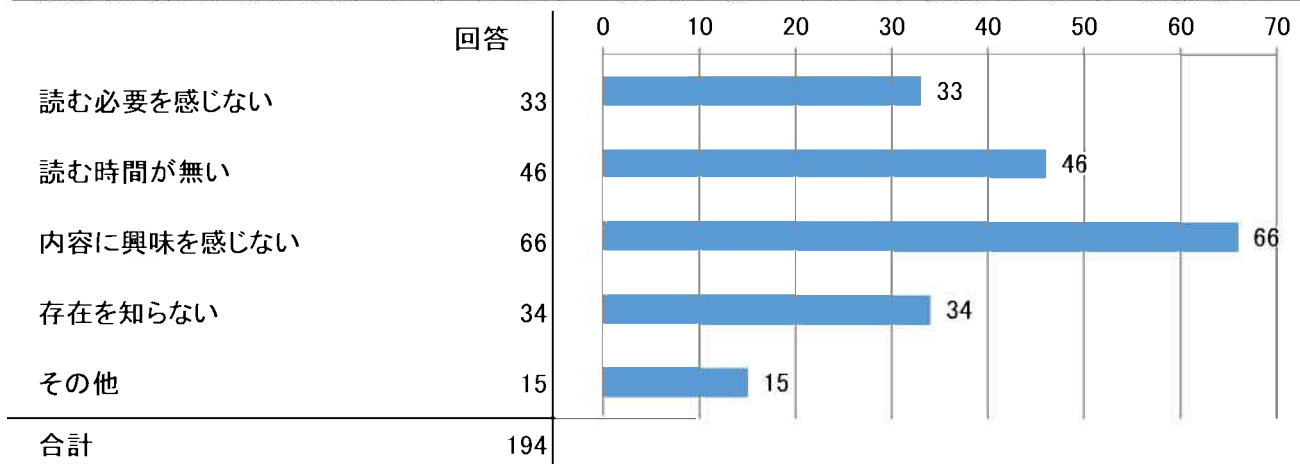
問44 問42で「読んでいる」と答えた方にお尋ねします。あなたは、「市民しんぶん」をどの程度読んでいますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答不可＞

	回答	比率
全部を読んでいる	149	20.9%
必要な記事(情報)だけ読んでいる	268	37.6%
ざっと目を通す	295	41.4%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.1%
合計	713	100.0%



<市民しんぶん>

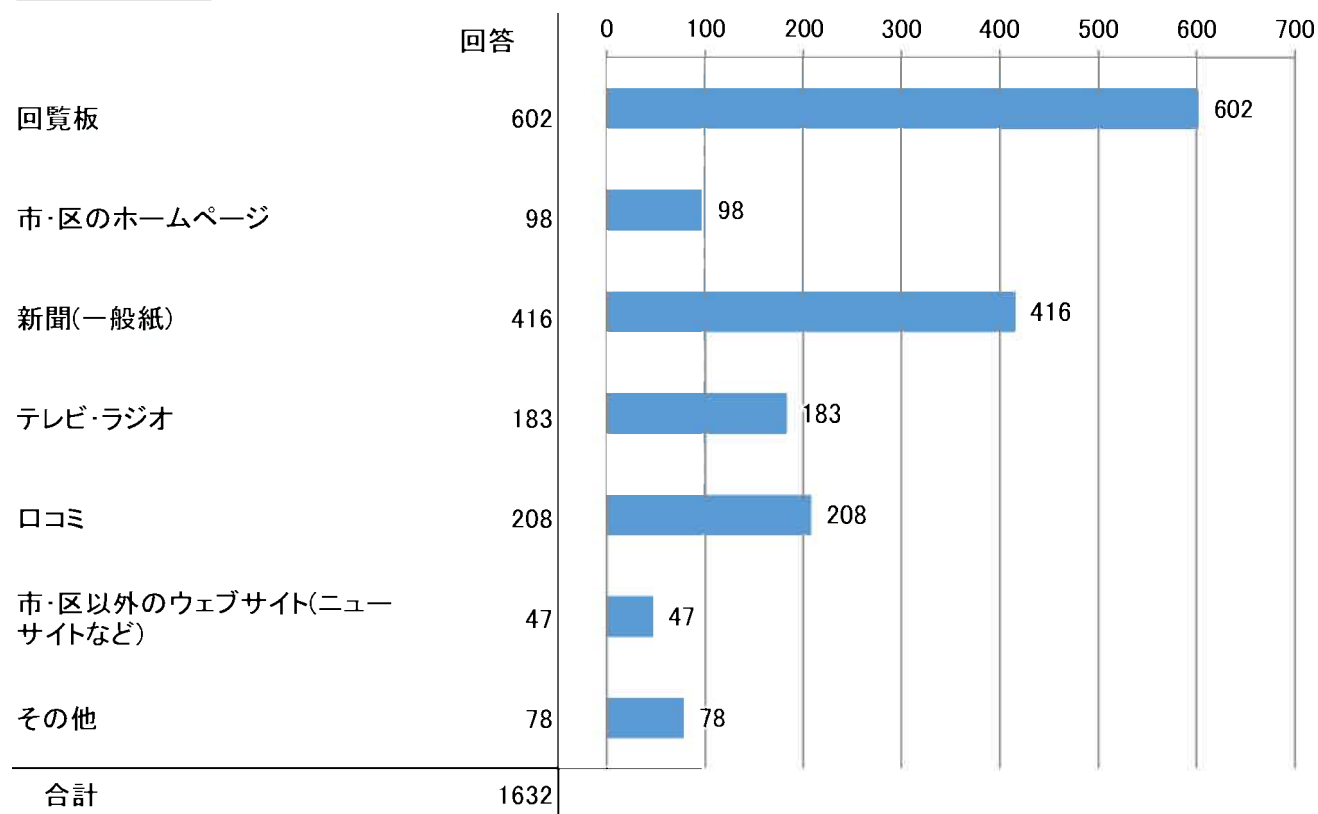
問45 問43で「読んでいない」と答えた方にお尋ねします。あなたが、「市民しんぶん」を読まない理由を教えてください。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



<市民しんぶん>

問46 あなたは、「市民しんぶん」以外で、市や区の施策や事業等の情報をどのような方法で得られていますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。

<複数回答可>

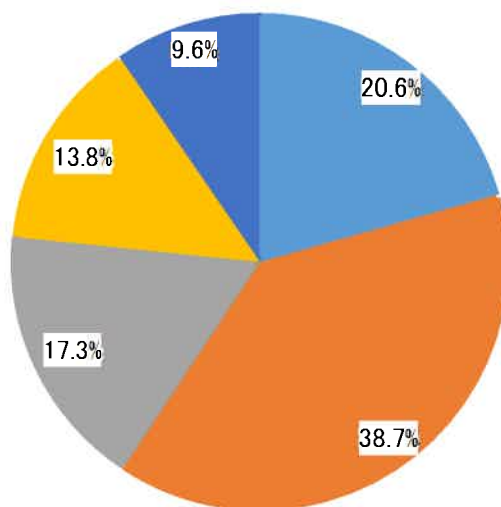


<京都刑務所>

問47 あなたは、山科区に京都刑務所があることについて、どう思いますか。該当する番号を選び○を付けてください。＜複数回答不可＞

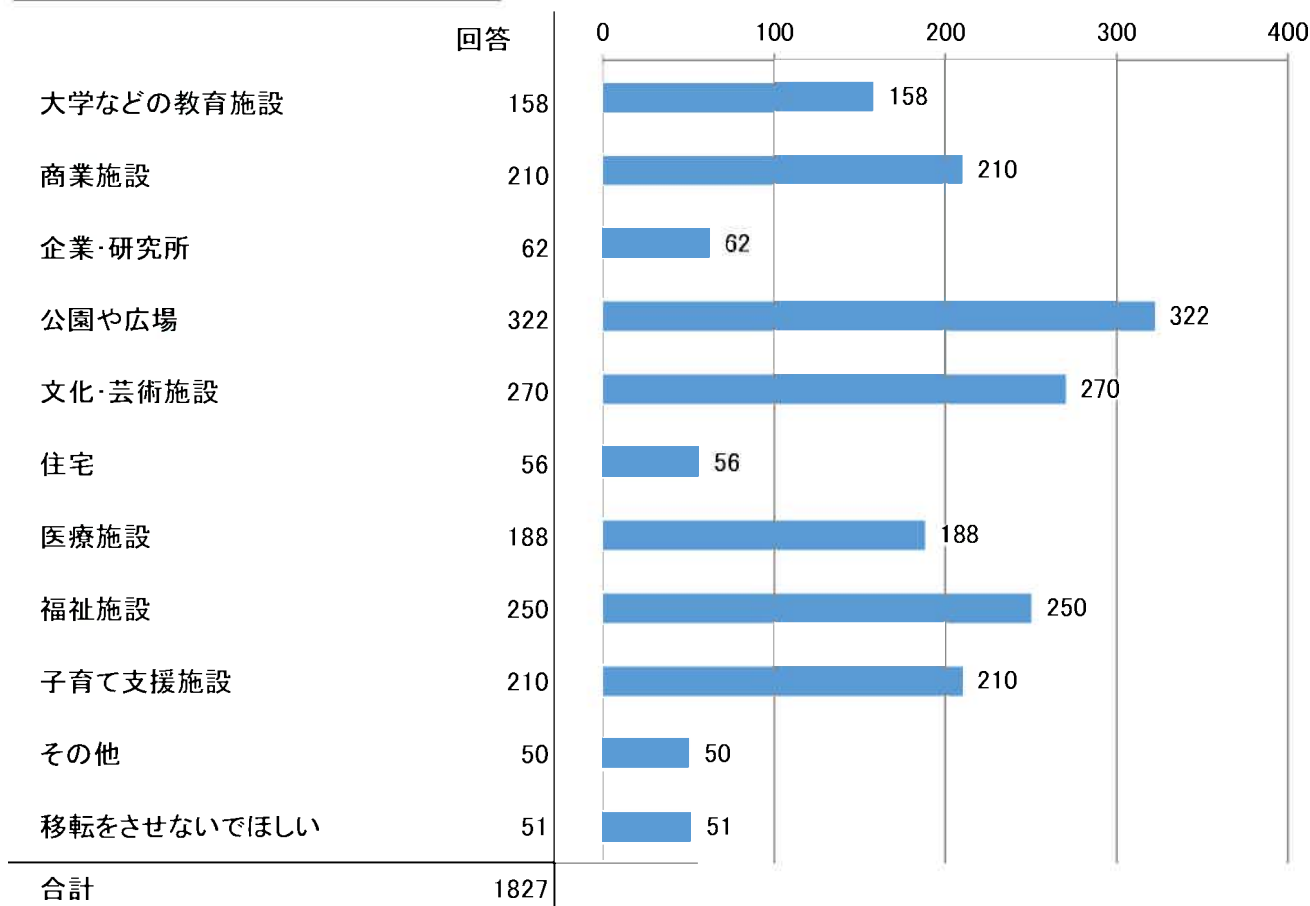
	回答	比率
現在のままでよい	200	20.6%
誘致するものによっては、現在の場所から移転してもよい	376	38.7%
移転させるべきである	168	17.3%
どちらともいえない	134	13.8%
無回答	93	9.6%
合計	971	100.0%

- 現在のままでよい
- 誘致するものによっては、現在の場所から移転してもよい
- 移転させるべきである
- どちらともいえない
- 無回答



<京都刑務所>

問48 京都刑務所の移転が可能である場合、その跡地について、あなたはどのように考えますか。該当する番号を選び○を付けてください。＜複数回答可＞



第2期山科区基本計画
施策進ちょく評価 検証シート

基本施策 ①	環境を守り継ぐ	自然を守り，地球環境に配慮したライフスタイルを，ともにつくっていきます。
--------	---------	--------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ，H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	うるおい・自然を大切に する	①まちの水・緑の充実	花いっぱいプロジェクトでのプランター設置数【個】	—	—	—	—	—	1,800	対象：市街化区域内の緑（山科区）前回調査（H17）時の緑被率：26% H23，H24はデータなし BOD（生物化学的酸素要求量）：河川の有機汚濁の代表的な指標（数値が小さいほど，汚濁が少ない）
			山科区フラワーロード推進事業花苗植数【個】	5,030	5,220	5,140	5,190	5,266	—	
			緑被率【％】	—	—	—	—	25	—	
		②公園・緑地等の整備と適切な管理	公園愛護協力会による公園の清掃回数【回】	—	—	2,164	2,243	1,975	2,206	
		③自然環境の保全・回復	山科川におけるBOD（生物化学的酸素要求量）の75％水質値【mg/L】	0.7（㊤）	0.6（㊤）	0.6（㊤）	0.5（○）	0.5（○）	—	
2	地球環境問題対策のため行動する	①低炭素社会づくりによる地球温暖化対策の推進	自動車保有台数（自家用乗用車及び軽自動車のみ）【台】	50,533	50,533	50,767	50,646	—	—	
			京都市住宅用太陽光発電システム助成件数【件】	117	179	142	130	85	32	
3	ごみを減らし，まちを きれいにする	①ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築	ごみ排出量【t】	488,823	481,211	472,183	461,415	439,606	—	全市の回収量（山科区のためのデータなし）
		②廃棄物対策の充実と環境美化	使用済てんぶら油の回収量【リットル】	21,353	21,432	22,190	19,435	20,107	16,418	
			使用済乾電池の回収量【t】	74	90	85	89	95	62	
			2万人まち美化作戦の参加人数【名】	15,856	17,300	16,568	16,554	16,296	15,170	
			山科エコまちステーション及び山科まち美化事務所での清掃用ゴミ袋の配布枚数【枚】	18,810	25,580	18,900	18,981	20,860	27,204	
4	(4)環境について学 ぶ	①環境学習の充実	ごみ減量エコバスツアーの参加者数【名】	67	90	91	99	98	95	エコライフチャレンジ：各家庭で，子ども達がマイバッグの持参などのエコライフにチャレンジしその結果を子ども版環境家計簿「こどもエコライフチャレンジ」に記入する授業
			小学校での環境学習（子どもエコライフチャレンジ）の時間数【時間】	39	39	39	39	39	39	

2 区民の実感（区民アンケート）

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	備考
1	山科区は，街路樹や公園・緑地，水辺空間など自然環境が豊かである。	21.0% (204)	37.0% (359)	20.4% (198)	12.4% (120)	7.2% (70)	2.1% (20)	
2	山科区では，ごみの減量，分別収集など，環境に優しい取組が進んでいる。	20.1% (195)	39.2% (381)	26.2% (254)	7.7% (75)	4.8% (47)	2.0% (19)	
3	山科区は，散乱ごみが少なく，美しいまちである。	11.3% (110)	33.6% (326)	30.6% (297)	14.2% (138)	9.4% (91)	0.9% (9)	
4	山科区では，学校や地域において，環境について学ぶ機会が充実している。	5.6% (54)	18.3% (178)	44.4% (431)	12.9% (125)	7.9% (77)	10.9% (106)	

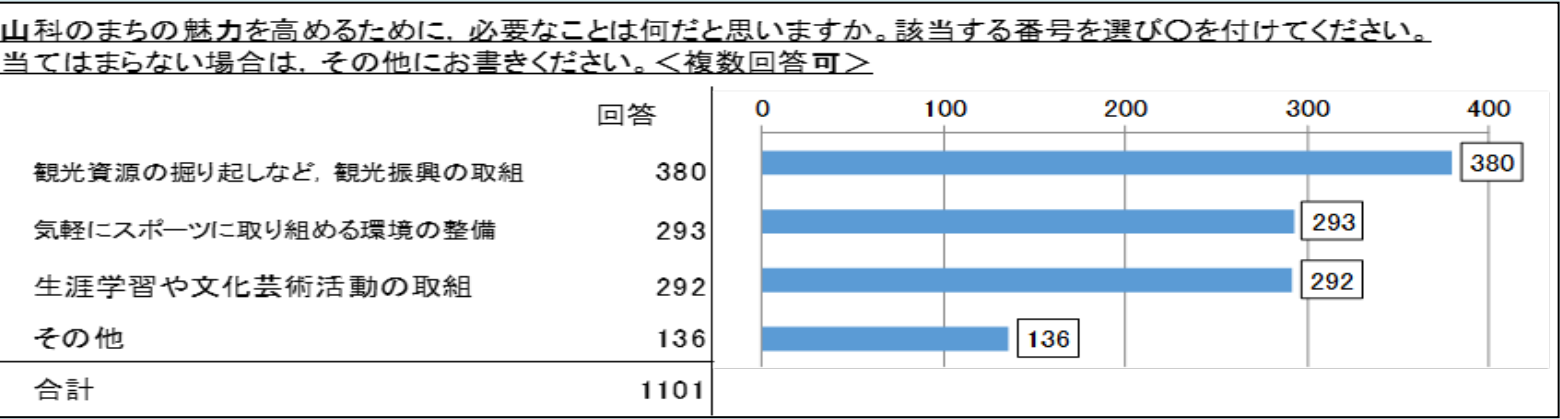
基本施策 ②ー1	まちの魅力・観光を磨く (観光・伝統産業)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	山科の魅力・観光を育てる	①山科の魅力の発信	おこしやすやましな協議会HPのアクセス数【アクセス】	—	20,747	25,791	28,240	30,094	—	H23はデータなし
		②歴史資源等の保全・活用と新たな魅力づくり	おこしやすやましなマップ(簡易マップ)の配布枚数【枚】	14,000	18,720	12,090	20,700	5,550	10,300	H23、H24はデータなし(同調査における訪問地の選択肢になし) 民間団体(2団体)及び“ふれあい”山科実行委員会主催分の合算
			京都市観光調査で、京都市に訪れた観光客のうち、「山科周辺」を訪問したと回答した観光客の割合【%】	—	—	7.3	3.4	2.7	—	
			歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	21	
			市設置の観光案内板の新規設置数【個】	0	0	0	3	5	0	
		③観光基盤の整備	飲食店数【事業所】	—	512	—	530	—	—	数値は2年ごとに把握(経済センサス)
			宿泊業数【事業所】	—	16	—	12	—	—	数値は2年ごとに把握(経済センサス)
2	伝統産業・農業を守る	①伝統産業の活性化と観光活用	清水焼の郷まつりの来場者延べ数【名】	55,000	90,000	65,000	92,000	85,000	68,000	H27は未確定
		②農地の保全と観光農業の展開	野菜の年間収穫量【t】	2,293	2,296	2,296	2,300	—	—	
			野菜の年間販売数量【t】	1,620	1,621	1,621	1,624	—	—	H27は未確定
			耕地面積【ha】	166.6	164.5	162.9	160.6	158	—	
			勧修寺観光農園来園者数【人】	15,093	14,075	12,568	14,378	14,725	—	
		③伝統産業・農業の担い手支援	農家戸数【戸】	471	468	466	464	464	—	
			農業従事者の平均年齢【歳】	—	—	—	—	—	—	データなし

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも いえない	どちらか というと そう思わない	そう思わない	無回答	備考
5	山科区では、近年、京焼・清水焼等の伝統産業の魅力が増し、後継者や担い手の育成が進んでいる。	2.8% (27)	14.6% (142)	41.4% (402)	14.8% (144)	9.5% (92)	16.9% (164)	
6	山科区では、農産物の地産地消や食育の取組が進んでおり、農業や山科産農産物を身近に感じることができる。	9.3% (90)	27.2% (264)	29.1% (283)	18.8% (183)	9.9% (96)	5.7% (55)	
7	山科区では、いろいろなひとが、山科のまちに親しみ、まちと暮らしを十分に楽しんでいる。	8.0% (78)	30.1% (292)	37.1% (360)	11.3% (110)	8.2% (80)	5.3% (51)	
8	山科区では、歴史や行事、自然、伝統産業などの観光資源が有効に活用されている。	6.4% (62)	27.3% (265)	34.9% (339)	16.8% (163)	7.9% (77)	6.7% (65)	
9	山科区では、NPOやボランティア、大学などが連携し、観光客をもてなす体制が整えられている。	2.7% (26)	15.2% (148)	37.3% (362)	19.9% (193)	14.1% (137)	10.8% (105)	



基本施策 ②ー2	まちの魅力・観光を磨く (文化・スポーツ)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	文化・学びを豊かにする	①わがまち山科を知る機会の充実	【再掲】歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	21	民間団体(2団体)及び“ふれあい”山科実行委員会主催分の合算
		②生涯学習活動の展開	アスニー山科主催事業述べ受講者数【人】	24,376	23,922	23,975	25,056	25,131	－	
			山科図書館の入館者数【人】	217,464	215,730	210,736	220,591	229,911	－	
		③文化・芸術活動の振興	東部文化会館の利用者数【名】	57,346	68,603	58,999	59,603	53,827	44,066	
2	遊び・スポーツを楽しむ	①区民スポーツの振興	市営スポーツ施設(東野公園, 山科地域体育館, 勧修寺公園)の利用件数【件】	8,286	8,474	8,683	8,896	8,551	－	
			体育振興会主催のスポーツ大会(区民歩こう会などのイベントを含む)の参加者数【名】	1,442	1,410	1,220	1,238	1,370	1,926	
		②スポーツ・レクリエーションのリーダー養成	京都市スポーツ推進指導員数【名】	47	49	49	49	48	49	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも いえない	どちらか というと そう思わない	そう思わない	無回答	備考
11	山科区では、気軽に文化・芸術活動を行ったり鑑賞したりすることができる。	4.8% (47)	15.2% (148)	33.4% (324)	21.3% (207)	14.0% (136)	11.2% (109)	
12	山科区は、スポーツを楽しむ機会が充実している。	2.6% (25)	17.5% (170)	33.1% (321)	21.7% (211)	13.5% (131)	11.6% (113)	
13	山科区は、幅広い世代が気軽に学ぶことができる機会や施設が充実している。	2.1% (20)	12.3% (119)	37.5% (364)	21.6% (210)	13.9% (135)	12.7% (123)	

基本施策 ③	交通・都市基盤を強化する	道路・交通環境の利便性と快適性を向上させながら、災害に強く、都市的環境と住環境の調和したまちをつくっていきます。
--------	--------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	(1)道路を快適にする	①幹線道路網の交通対策	稲荷山トンネルの利用台数(1日平均)【台】	4,600	5,600	6,500	6,700	7,200	7,500	H28は4月～11月
			自動車類の交通量(路線名:一般国道1号, 観測地点:山科区音羽野田町, 24時間(平日))【台】	55,067 (H22の調査結果)	—	—	—	—	—	出典:道路交通センサス調査(5年毎に実施)
		②安全で快適な道路空間の整備	カーブミラーの設置個数【個】	—	—	—	—	—	1,082	H27以前はデータなし
			自転車専用道路の整備距離【m】	0	0	0	0	0	0	区内になし
		③山科を楽しめる歩行者ネットワークの整備	歩道のバリアフリー化率【%】	—	—	—	—	—	—	データなし
2	(2)交通環境を便利にする	①公共交通ネットワークの充実	交通事故発生件数【件】	911	673	658	576	472	383	
			地下鉄山科駅の乗降客数(1日平均)【名】	40,701	41,028	40,887	41,514	42,737	—	
			JR山科駅の乗客数(1日平均)【名】	31,759	32,129	33,227	32,798	33,912	—	
		②パークアンドライド／サイクルライドの促進	京阪山科駅の乗降客数(1日平均)【名】	4,775	3,239	5,610	4,950	—	—	H27はデータなし
			市営自転車駐車場(東野駅, 御陵駅南・北, 柳辻駅, 小野駅)の利用台数【台】	297,684	288,550	275,228	294,012	283,088	226,598	定期利用を含む。
			放置自転車の撤去台数【台】	1748	1719	1638	1067	642	487	
3	(3)都市環境を充実させる	①災害に強い都市構造の形成	浜大津駅駐車場(明日都浜大津公共駐車場, 浜大津公共駐車場)での京阪電車と連携したパークアンドライド利用台数【台】	10,951	10,974	10,156	9,997	8,838	—	京阪電車の乗車券等を購入すると駐車料金が割引になるサービスを利用した台数
			床下浸水発生件数【件】	0	0	167	1	0	0	
		②魅力ある拠点づくり	東部土木事務所における町内会等への土のう袋提供件数【件】	470	465	540	1990	353	460	
			【再掲】JR山科駅の乗客数(1日平均)【名】	31,759	32,129	33,227	32,798	33,912	—	
		③良好な景観の保全と創出	未設定	—	—	—	—	—	—	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも いえない	どちらか というと そう思わない	そう思わない	無回答	備考
14	山科区では、違法駐車や放置自転車が少なく、交通マナーがきちっと守られている。	3.8% (37)	20.3% (197)	20.8% (202)	23.8% (231)	24.4% (237)	6.9% (67)	
15	山科区は、歩道や水辺の空間など、まちの魅力を歩いて味わうことができる環境が整っている。	7.6% (74)	27.4% (266)	28.8% (280)	16.4% (159)	11.5% (112)	8.2% (80)	
16	山科区は、バス・地下鉄などの公共交通機関が整い、自家用車に頼らない移動が便利である。	19.4% (188)	25.0% (243)	16.5% (160)	17.2% (167)	15.6% (151)	6.4% (62)	
17	山科区では、大雨時にも安心できる治水対策が進んでいる。	5.4% (52)	20.6% (200)	35.6% (346)	16.1% (156)	9.4% (91)	13.0% (126)	
18	山科区は、個性的なまちなみや景観が守られ、美しいまちである。	3.6% (35)	21.6% (210)	36.3% (352)	18.0% (175)	10.8% (105)	9.7% (94)	

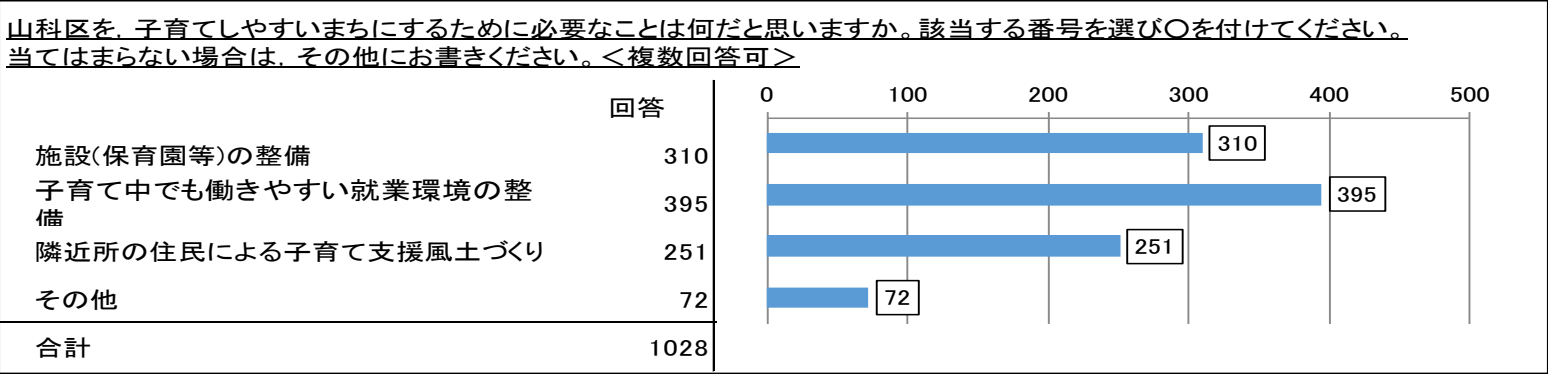
基本施策 ④ー1	保健・福祉・子育て支援 (子育て・青少年)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	--------------------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	子どもと子育てを応援する	①母子保健の充実	1歳6箇月児健康診査受診率【％】	94	95	96	95	97	－	
		②就学前教育・保育の充実	保育所待機児童数(年度当初)【名】	0	0	0	0	0	0	
			保育所(園等)数【施設】	20	20	20	20	25	29	
		③放課後児童対策の充実	放課後まなび教室登録児童数【名】	954	958	956	994	1,014	1,066	H28は11月末時点の数値
		④地域子育て支援の充実	やましなお誕生おめでとう事業訪問件数【件】	－	－	－	－	48	127	
			山科子ども支援センター相談対応件数【件】	192	213	228	206	262	242	
			やましなっこひろば実施回数【回】	－	4	7	8	5	8	
			やましなっこひろば参加者数【名】	－	170	222	302	244	455	
			子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業利用者数【名】	13,739	16,519	16,239	16,107	16,884	13,241	
			虐待通報件数【件】	155	170	135	118	138	123	
		⑤学校教育等の充実	小・中学校での土曜学習における学習・体験活動の実施校数(小中学校)【校】	19	19	19	19	19	19	
			小・中学校での京の子ども「かがやき」創造事業における体験活動の実施校数(小中学校)【校】	11	11	12	13	13	14	
		⑥青少年の健全育成	山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の利用者数【名】	52,812	54,917	54,294	53,440	49,681	36,440	
			山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の事業参加者数【名】	14,275	14,707	11,833	9,255	10,319	10,044	
			刑法犯少年の検挙・補導者数【名】	－	－	－	－	－	－	山科区のみデータはなし

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	備考
19	山科区では、子育て家庭のニーズに対応した保育サービスや相談機能が充実している。	2.3% (22)	15.3% (149)	38.9% (378)	13.2% (128)	5.3% (51)	25.0% (243)	
20	山科区では、子育てサロンなど、子育て世帯を支援する活動が活発である。	2.6% (25)	12.9% (125)	39.3% (382)	13.1% (127)	5.5% (53)	26.7% (259)	
22	山科区では、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育んでいる。	7.1% (69)	33.2% (322)	32.5% (316)	9.0% (87)	4.3% (42)	13.9% (135)	
23	山科区では、若者が活動する場や情報が十分に提供されている。	0.8% (8)	9.1% (88)	40.1% (389)	22.0% (214)	12.4% (120)	15.7% (152)	
24	山科区では、子どもの非行防止の取組が充実している。	1.9% (18)	10.8% (105)	36.3% (352)	19.1% (185)	16.9% (164)	15.1% (147)	



基本施策 ④ー2	保健・福祉・子育て支援 (障害・高齢・健康・人権)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	------------------------------	--

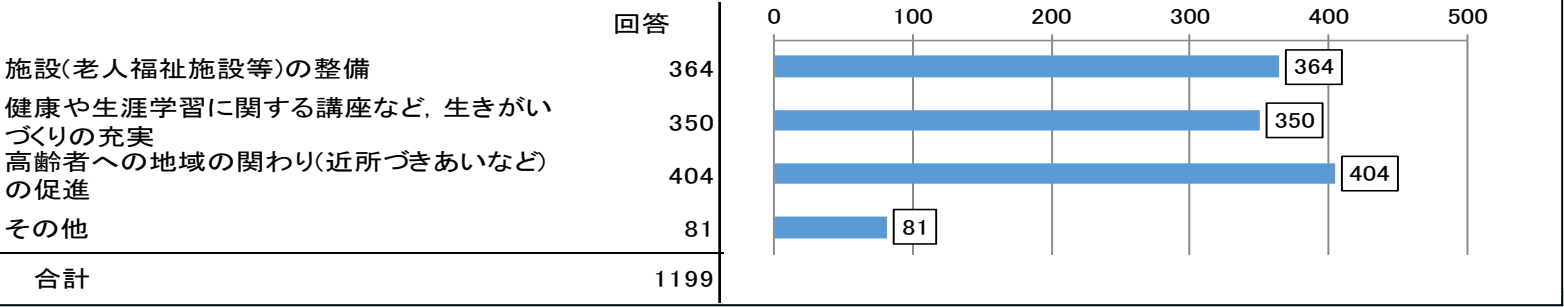
1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	障害のあるひとの社会生活を応援する	①障害のあるひととその家族への生活支援の充実	日中活動系障害福祉サービス利用者数【名】	542	663	695	743	－	－	東部圏域(山科、醍醐、東山)での相談件数
			障害者地域生活支援センター(東部圏域)相談件数【名】	14,951	16,152	19,705	25,782	34,497	－	
		②障害のあるひとの社会参加を守る環境づくりの推進	【再掲】日中活動系障害福祉サービス利用者数【名】	542	663	695	743	－	－	
2	高齢期の暮らしの安心と生きがいをつくる	①高齢期の活動拡大の応援	山科老人福祉センター利用者数【名】	29,099	28,307	28,033	28,808	28343	－	データなし
			山科中央老人福祉センター利用者数【名】	40,349	42,934	43,450	43,667	43579	－	
			知恵シルバーセンター紹介者数【名】	－	239	321	366	423	－	
		②高齢期の生活と家族支援の充実	要支援認定者数【名】	1,637	1,853	2,057	2,214	2,267	2,281	
			認知症サポーター養成講座開催回数【回】	14	14	16	30	28	－	
			認知症サポーター養成講座参加者数【名】	467	522	476	987	862	－	
3	区民の健康をつくり、守る	①健(検)診の実施と健康教育・相談の充実	【再掲】1歳6箇月児健康診査受診率【％】	94.3	95.3	95.6	94.7	96.8	－	
			キャット・ハンズと歩く健康ウォーキング参加者数【名】	－	－	96	135	140	－	
		②地域医療体制の充実	未設定	－	－	－	－	－	－	
4	みんなにやさしいまちにする	①人権文化が息づくまちづくり	人権啓発イベント(12月人権月間)参加者数【名】	360	355	280	550	137	315	H27の会場は京都薬科大学で実施(それ以外は東部文化会館で実施) H23はデータなし
		②男女共同参画社会づくりの推進	ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点(130点)以上の企業の数【企業】	－	81	114	154	181	225	
		③ユニバーサルデザインの普及、推進	未設定	－	－	－	－	－	－	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	備考
25	山科区では、障害のある人、また、その家族を支える生活支援が充実している。	4.0% (39)	16.7% (162)	41.7% (405)	13.0% (126)	7.5% (73)	17.1% (166)	
26	山科区では、障害のある人の社会参加を守る環境づくりが進んでいる。	2.7% (26)	15.3% (149)	42.8% (416)	11.8% (115)	8.8% (85)	18.5% (180)	
27	山科区では、利用しやすく、相談しやすい医療体制が充実している。	6.0% (58)	25.4% (247)	34.8% (338)	15.7% (152)	9.5% (92)	8.7% (84)	
28	山科区では、普段の生活の中で人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いている。	2.0% (19)	12.8% (124)	43.5% (422)	15.4% (150)	11.2% (109)	15.1% (147)	
29	山科区では、高齢者や、その家族を支えるサービスを行う施設が充実している。	6.1% (59)	26.6% (258)	34.1% (331)	13.1% (127)	8.2% (80)	11.9% (116)	
30	山科区では、高齢者の地域活動への参加や、それに対する支援が充実している。	6.4% (62)	24.7% (240)	39.3% (382)	10.6% (103)	6.7% (65)	12.3% (119)	

年齢を重ねてもいきいきと暮らせるまちにするために必要なことは何だと思いますか。
該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



基本施策 ⑤	地域のつながりを強める	さまざまな地域のつながりを強め、自治力・福祉力のある元気な山科区のまちづくりを進めていきます。
--------	-------------	---

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標名【単位】	年度推移 (H28は算出可能なもののみ、H28.12.31時点の数値を記載)						備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
1	自治の仕組みを強化する	①地域コミュニティによる自治活動の展開	自治会加入率【％】	—	70	69	68	68	—	
2	市民活動を活発にする	①NPO・ボランティア活動等の展開支援	NPO法人数(事務所所在地が区内の法人)【法人】	48	47	45	48	48	50	
			区ボランティアセンター相談件数【件】	32	68	31	45	74	—	
		②大学・地域・行政の連携強化	区役所が行う区内大学との連携事業件数【件】	—	—	—	6	9	13	包括協定締結後、連絡協議会等により、大学と区が確認した事業数(H28は予定を含む。)
3	地域ぐるみで暮らしの安心を守る	①地域の福祉力の強化	社会福祉協議会の賛助会費額【円】	14,108,040	14,003,250	14,206,220	13,440,250	13,225,400	—	
			フリースペースの設置箇所数【箇所】	—	3	3	10	11	12	
			フリースペースの利用者数【名】	—	554	2,618	2,946	4,223	—	
		②地域防犯体制の強化と生活安全対策の充実	刑法犯認知件数【件】	2,091	1,691	1,605	1,413	1,234	873	年ごとの数値(H28は暫定値)
		③地域防災・危機管理体制の強化	消防団員数【名】	228	234	232	235	243	252	
			区総合防災訓練参加者数【名】	450	320	450	500	2139	330	H27は京都市総合防災訓練として実施
4	区役所をはじめ、行政機関を生活の身近にする	①協働まちづくり推進の体制強化	きずな支援事業の申請事業【件】	—	44	46	49	40	41	
			やましなGOGOカフェの参加者数【名】	—	—	—	199	242	108	
		②行政サービスの利便性向上	区役所ホームページアクセス件数【アクセス】	179,418	286,909	303,491	294,165	306,867	264,318	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	備考
32	山科区では、町内会や自治会等の地域活動が活発である。	15.0% (146)	36.6% (355)	27.3% (265)	7.3% (71)	3.3% (32)	10.5% (102)	
33	山科区では、町内会や自治会等の地域の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみあっている。	5.5% (53)	23.3% (226)	38.3% (372)	9.9% (96)	5.7% (55)	17.4% (169)	
34	山科区では、NPOやボランティア組織など、多様な担い手が活発に活動している。	3.2% (31)	15.1% (147)	38.2% (371)	14.0% (136)	6.5% (63)	23.0% (223)	
35	山科区では、大学の市民向けの講座や地域との交流が行われるなど、大学が身近に感じられる。	3.6% (35)	13.3% (129)	27.7% (269)	21.3% (207)	15.8% (153)	18.3% (178)	
36	山科区は、犯罪や事故が少なく、安心して暮らせるまちである。	3.4% (33)	16.4% (159)	25.1% (244)	22.3% (217)	24.0% (233)	8.8% (85)	
37	山科区では、平常時から、地域ぐるみで暮らしの安心を守る仕組みが充実している。	1.8% (17)	16.2% (157)	37.1% (360)	18.3% (178)	11.9% (116)	14.7% (143)	
38	山科区では、防災訓練や連絡網の整備など、災害に備える取組が充実している。	4.3% (42)	25.5% (248)	33.6% (326)	16.8% (163)	7.2% (70)	12.6% (122)	
39	山科区では、災害発生時に、地域ぐるみで支えあう仕組みが充実している。	2.4% (23)	19.6% (190)	35.1% (341)	18.2% (177)	9.9% (96)	14.8% (144)	
40	山科区では、市や区の施策や事業等について、企画段階から参画する機会が十分にある。	1.5% (15)	7.0% (68)	35.8% (348)	18.0% (175)	13.2% (128)	24.4% (237)	
41	山科区役所では、便利で、区民の立場に立った円滑な行政サービスが提供されている。	5.7% (55)	21.1% (205)	32.7% (318)	14.8% (144)	9.6% (93)	16.1% (156)	

基本施策 ⑤	地域のつながりを強める	さまざまな地域のつながりを強め、自治力・福祉力のある元気な山科区のまちづくりを進めていきます。
--------	-------------	---

2 区民の実感(区民アンケート)

